デジタルビデオカメラ

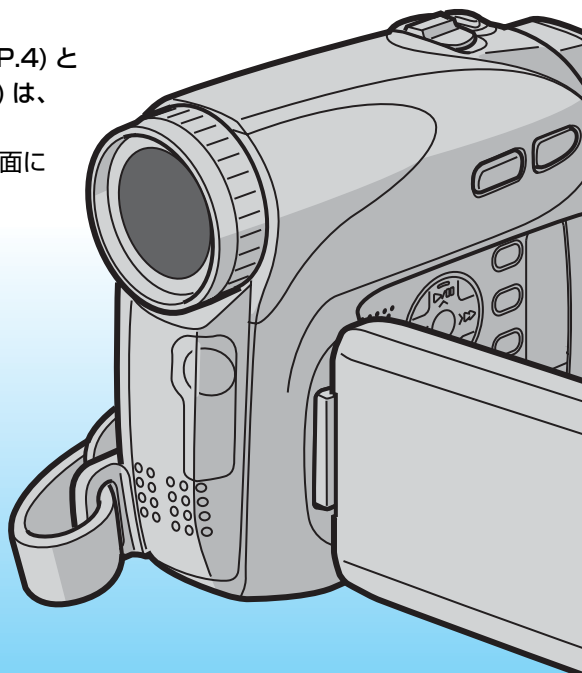
型名 GR-D650

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「使用上のご注意」(P.4) と「安全上のご注意」(P.82) は、必ずお読みください。

［本機の製造年は、本体底面に表示されています。］

For English Users

To change the Menu indications etc. to English, see page 93.

（本体画面の表示などを英語に変えるには、P.93 をご覧ください。）

LYT1562-001B

もくじ

はじめに

準備する

すぐ使う

もっと撮る

編集する

設定する

困ったときは

その他

使用上のご注意

撮影について

● **大切な記録のまえには、必ず試し撮りをしてください。**
撮ったところを再生してみて、画面と音が記録されていることを確認してください。

● **大切な記録は SP(標準) モードをお使いください。**
LP(長時間) モードでは SP モードの 1.5 倍記録できますが、テープの特性や使用環境に影響され、再生時にモザイク状のノイズが発生する場合があります。大切な撮影には SP モードのご利用をお勧めします。

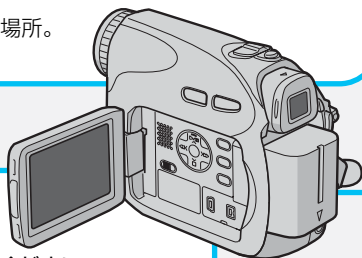
このビデオカメラについて

● **DV 方式です。ほかの方式や従来式のビデオとは互換性がありません。**

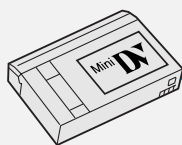
● **ご使用のまえにビデオヘッドクリーニングをお勧めします。**
ビデオヘッドが汚れていると、正常な記録や再生ができなくなります。

ビデオヘッドが汚れているときの画面

● **長期間使わない場合は、テープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。**
ときどき電源を入れて、動作を点検してください。

● **ビデオカメラは、バッグなどに入れて、次のような場所に置かないでください。**
・ 晴天時の閉め切った車内など、高温になる場所。
・ 直射日光が当たる場所。
・ ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所。

液晶画面について

● **表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**
傷がついたり、割れたりする場合があります。

● **小さく光る点 (赤・青・緑) や黒い点は故障ではありません。**
テープには記録されません。

テープとカードについて

- 次のマークがあるものを使ってください。 Mini DV SD MultimediaCard
- 曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。
- テープを保管するときはカセットケースに入れ、湿気のない場所に保管してください。
- カードの金属部分を触らないでください。

※ 不具合により正常に動作しないことがあります。内容の補償はご容赦ください。

著作権について

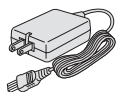
- 録画・録音したビデオは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

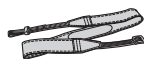
バッテリー（充電式電池）について

- バッテリーは必ずビクター製をお使いください。ビクター製以外では正常に動作しません。
- ご購入時はバッテリーは充電されていません。充電してお使いください。
- 低温（10 ℃以下）では、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。カイロなどに直接ふれないよう、ご注意ください。
- 長期間保管するときは、バッテリーの劣化を防ぐため、次の操作で使いきってください。さらに、半年に 1 回程度充電し、再び使いきってから保管してください。
  1)テープを入れずに、電源スイッチを「録画」にあわせる。
  2)電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。
- 使わないときは、バッテリー残量を保つため、必ず取りはずしてください。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付け、約 15 ～ 25 ℃の乾燥したところに保管してください。
- バッテリーを処分する際は、P.92 をご覧ください。

はじめにお確かめください

付属品

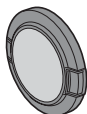
万が一、不足品がございましたら、お買い上げ店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

ACアダプター
AP-V14

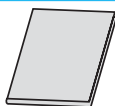
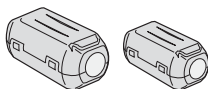
バッテリーパック
BN-VF707

ショルダーストラップ

ワイヤレスリモコン
RM-V740

ボタン電池(CR2025)
リモコン動作確認用
(リモコンのなかに入って出荷されております。)

専用映像/音声コード

専用USBケーブル
Aタイプーミニ B タイプ

レンズキャップ

CD-ROM

取扱説明書
(本書)

大(1個)　小(1個)
フェライトコア

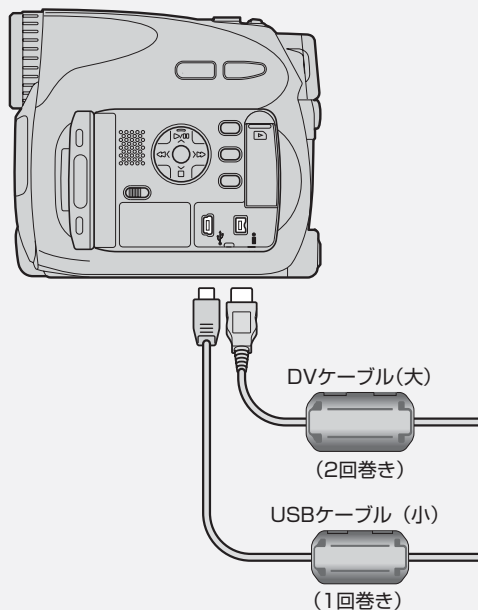
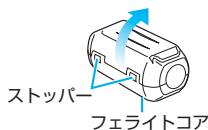
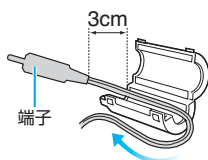
別売アクセサリー

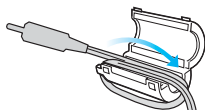
詳しくはカタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF707
バッテリーパック	BN-VF714
バッテリーパック	BN-VF733
バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT

バッテリーチャージャー	AA-VF7
DC コード	VC-VBN800
PC カードアダプター	CU-V51
フロッピーディスクアダプター	CU-V41
USB リーダー / ライター	CU-V70

接続時のノイズをおさえるために

付属の USB ケーブルや、別売の DV ケーブルをお使いの場合は、フェライトコアを必ず取り付けてください。本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

1 両側のストッパーをはずし、開く

2 端子から約3cmの位置に取り付ける

3 指定された回数分巻き付ける

(イラストは1回巻きの説明です)

4 コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

各部のなまえ

左側面

AUTO ボタン
(P.25 、36)

1.3x(P.27)
／ブランク
サーチボタン
(P.30)

スピーカー

モード切替スイッチ
(P.25)

決定／データボタン
(P.17)

左ボタン
(◀◀ 巻戻し／クイックレビュー (P.26))

16:9 ボタン (P.28)

メモリーカードカバー (P.19)

MENU ボタン (P.58)

ライト (P.38)
／インデックスボタン (P.32)

DV 端子 (i.LINK)(P.57)

USB 端子 (P.53)

上ボタン
(▶/II 再生・一時停止／フォーカス (P.37))

右ボタン
(▶▶ 早送り／ナイトアイ (P.39))

下ボタン
(■停止／逆光補正 (P.40))

上面

ズーム (P.27) ／音量レバー

T	撮影時：大きく撮る
↕	再生時：音量大
W	撮影時：広く撮る
	再生時：音量小

静止画 / スローボタン
(P.29 、31)

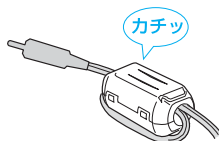
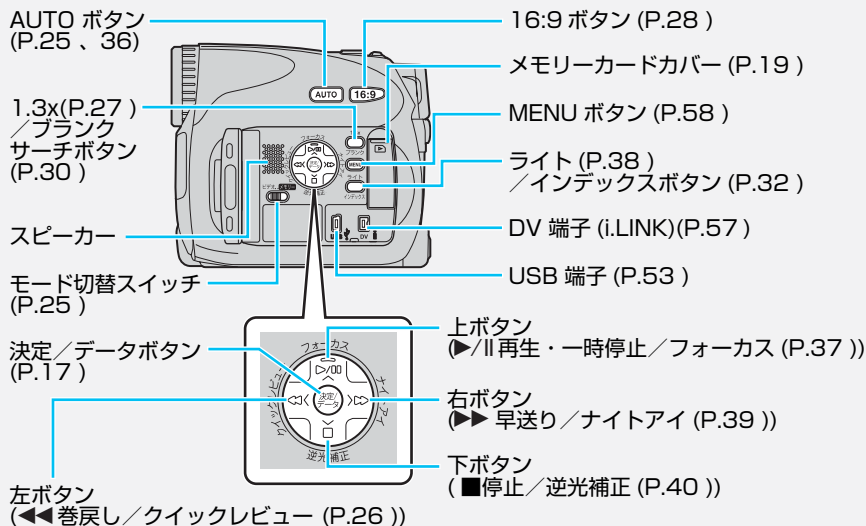
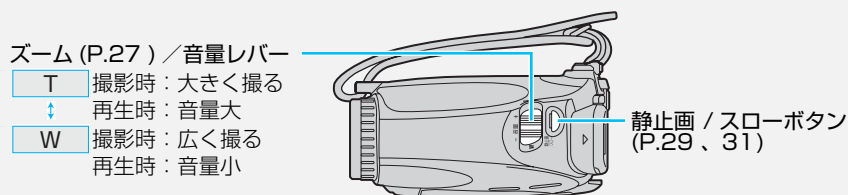
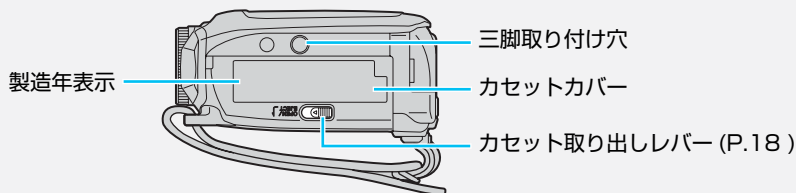
底面

製造年表示

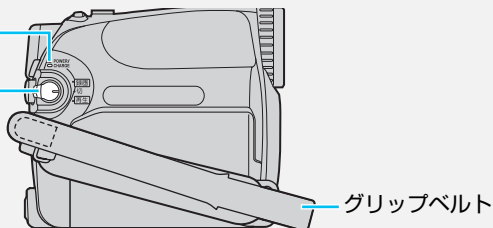
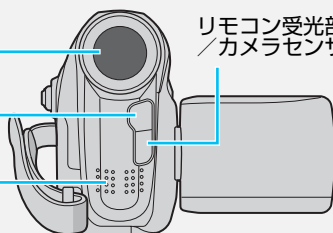
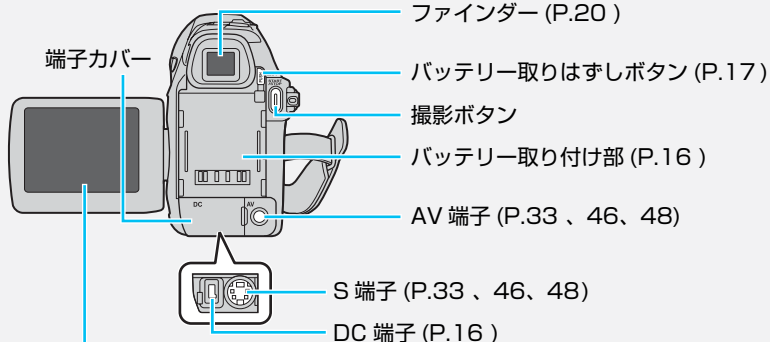
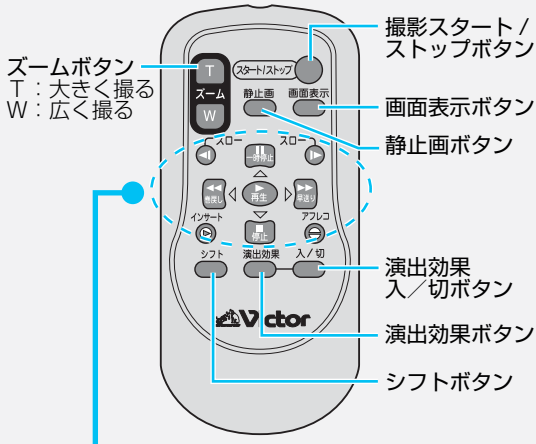
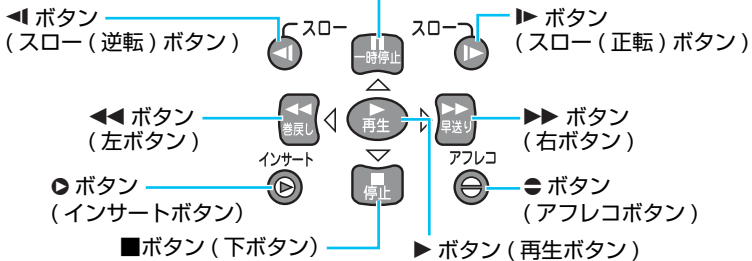
三脚取り付け穴

カセットカバー

カセット取り出しレバー (P.18)

右側面

録画	：撮影するとき
切	：電源を切るとき
再生	：再生や編集するとき

正面

背面

液晶画面 (P.20)
撮影中、再生中に映像が映る。
また、メニューが表示される。

リモコン

■コマ送り再生（ムービーのみ）
「スロー」を押す。
（押すたびに 1 コマ送る）

■拡大再生（再生ズーム）
「T」を押して拡大する。
「W」を押して戻す。

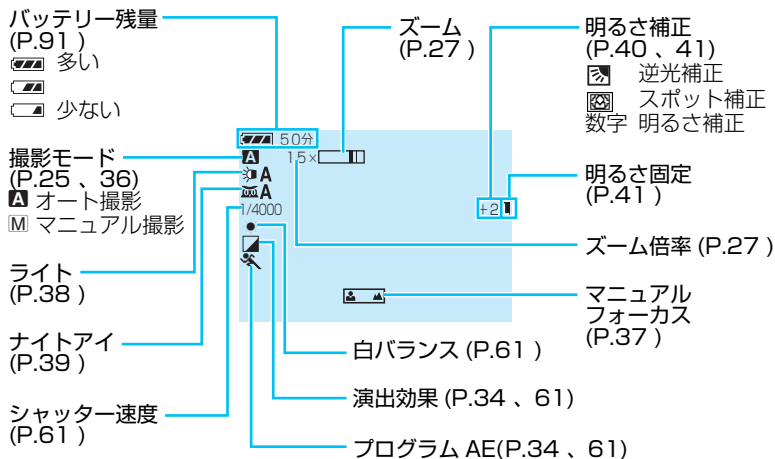
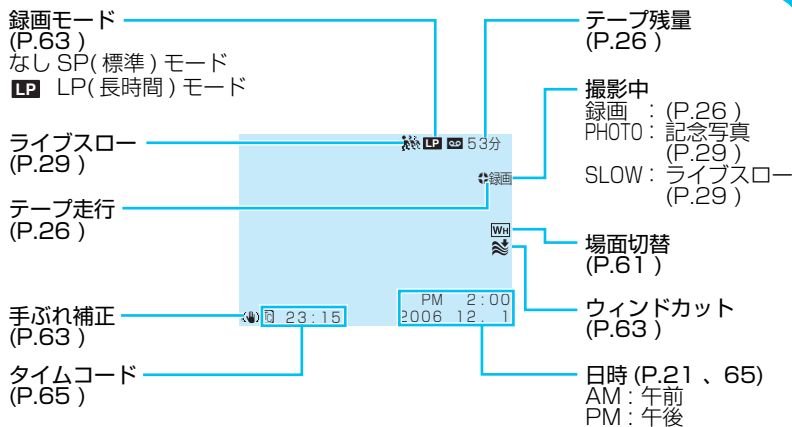
■再生画面に効果をつける（ムービーのみ）
「演出効果」を押して効果を選ぶ。

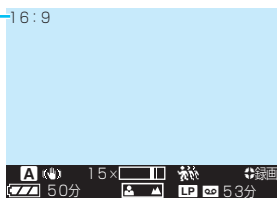
■スロー再生（ムービーのみ）
「スロー」を約 2 秒以上押し続ける。

■拡大した画面を動かす
「シフト」を押しながら ▲、▼、◀、▶ で動かす。

お知らせ ●受光部の正面から操作することをお勧めします。角度によっては操作できない場合があります。受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、誤作動したり、動作しないことがあります。

撮影画面の見かた

すべての撮影に共通

ムービー撮影 「ビデオ」に設定

ムービーのワイド撮影 「ビデオ」「16：9」に設定

ワイド撮影時は画面の下端が黒くなり、一部の表示が画面の下端に移ります。

静止画撮影 「メモリー」に設定

ピント
(P.31)

画像サイズ
(P.67)

画質設定(P.67)
S スタンダード
F ファイン

残り撮影可能枚数
(P.89)

静止画撮影中
(P.31)

1280 P 30 PHOTO

静止画撮影中(P.31)
／M カード表示
・カードが入っていないと点滅します。
・静止画を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。

再生画面の見かた

ムービー再生 「ビデオ」に設定

バッテリー残量
(P.91)

スロー再生
(P.30)

録画モード
(P.69)
なし SP(標準) モード
LP LP(長時間) モード

アフレコ音声
(P.69)
12(16)BIT
12BIT/ アフレコ
12BIT/ ミックス

テープ動作
▶ 再生
▶▶ 早送り
◀◀ 巻戻し
❚❚ 静止

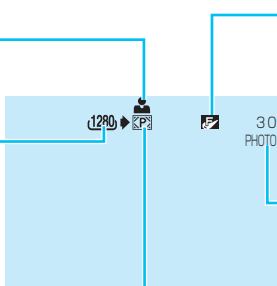
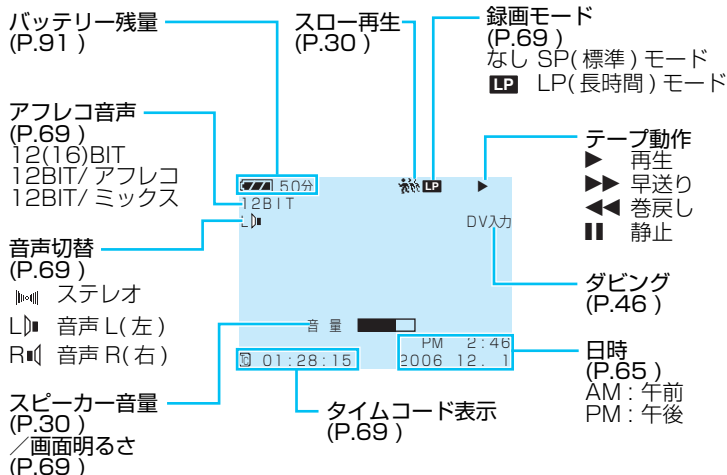
音声切替
(P.69)
ステレオ
L 音声 L(左)
R 音声 R(右)

ダビング
(P.46)

日時
(P.65)
AM : 午前
PM : 午後

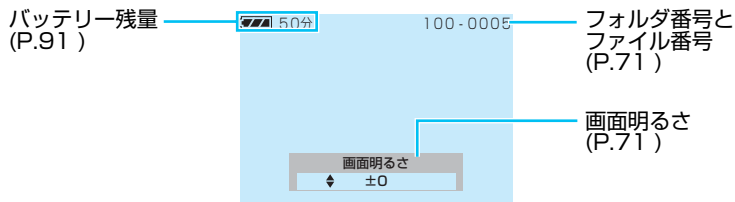
スピーカー音量
(P.30)
／画面明るさ
(P.69)

タイムコード表示
(P.69)

50分
LP
12BIT
L
DV入力
音 量
PM 2:46
2006 12. 1
01:28:15

■日付などの表示を消すには

メニューで次のように設定する (P.69)。

・日時表示　　　:「切」
・画面表示切替 :「切」または「モニター」
・タイムコード :「切」

静止画再生 「メモリー」に設定

付属品を取り付ける

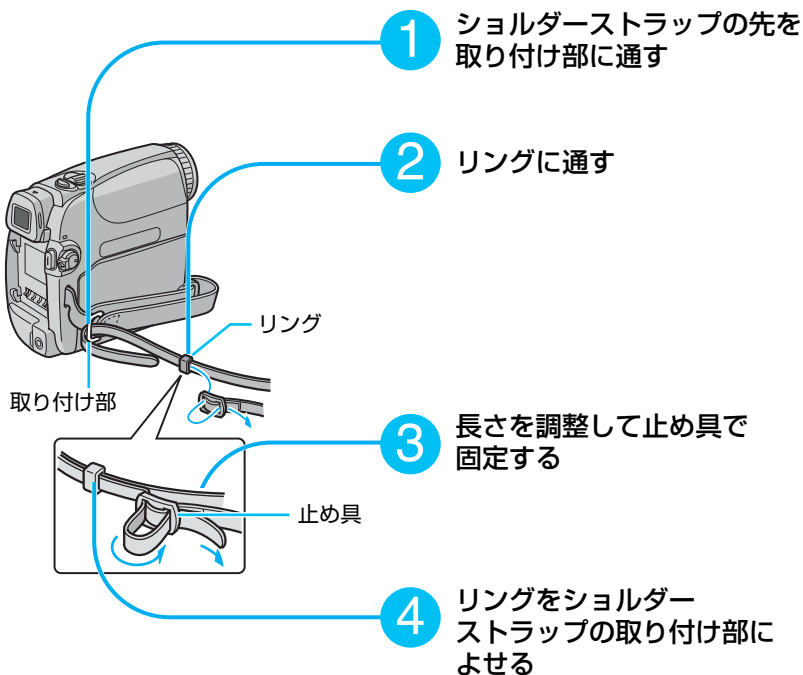
ショルダーストラップを取り付ける

リング
取り付け部
止め具

1 ショルダーストラップの先を取り付け部に通す

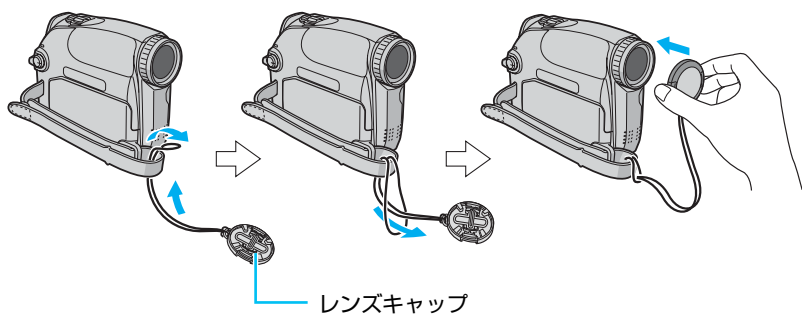
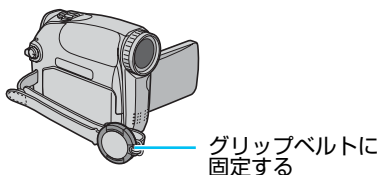
2 リングに通す

3 長さを調整して止め具で固定する

4 リングをショルダーストラップの取り付け部によせる

グリップベルトを調節する

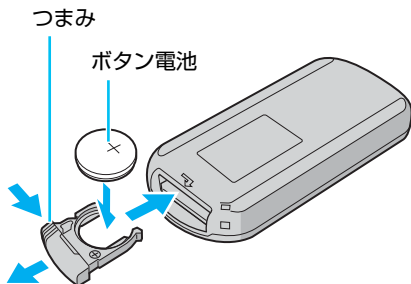
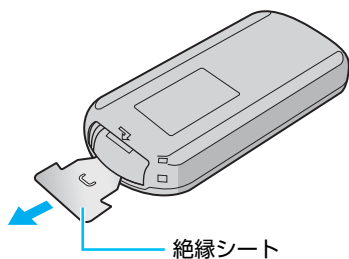
軽くにぎって安定するように調節しておくと、長時間でも楽に撮影できます。

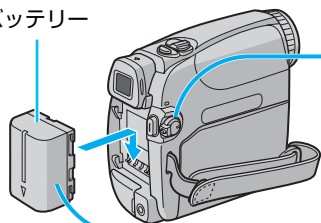
レンズキャップを取り付ける

撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

■撮影するときは

リモコンを準備する

リモコンから絶縁シートを引き出す。

■電池を入れ替えるときは
つまみを押して引き出し、新しいボタン電池に入れ替える。

電源を準備する

バッテリーを取り付ける

最初にバッテリーパック (以下、バッテリー) を取り付けてください。

AC アダプターで充電する

AC アダプターを取り付けて、撮影のまえにバッテリーを充電してください。

電源ランプ

端子カバー

1 録画 切 再生 「切」にする

2 開ける

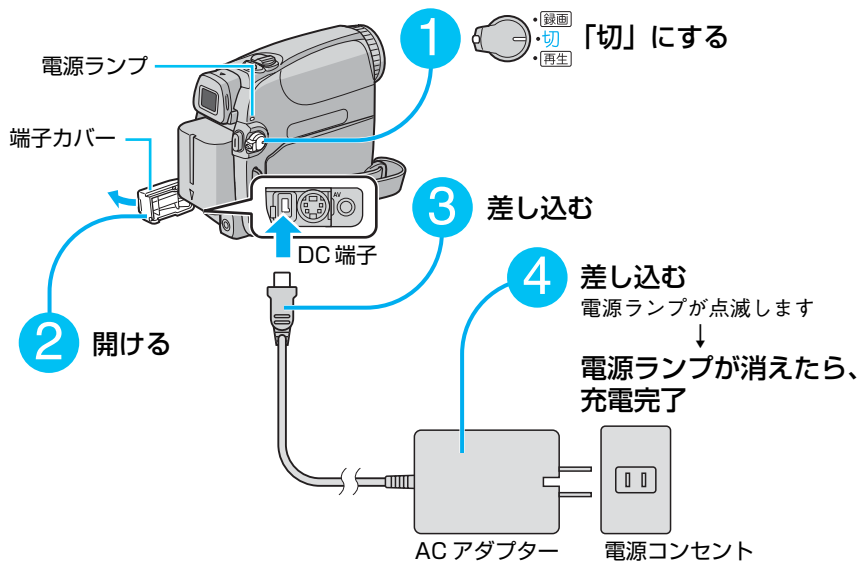
3 差し込む

DC 端子

4 差し込む

電源ランプが点滅します

↓

電源ランプが消えたら、充電完了

AC アダプター

電源コンセント

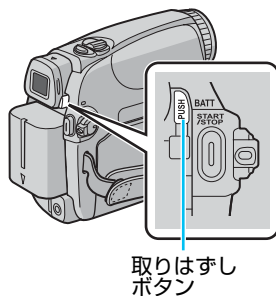
■バッテリーを取りはずすには
「バッテリーを取り付ける」の手順 1 のあと、取りはずしボタンを押したまま、逆の動作で取りはずす。

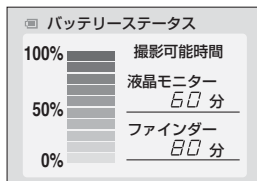
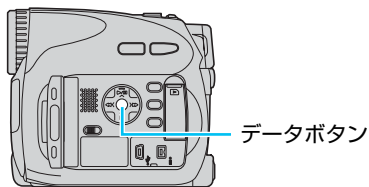
■充電が終わったら
AC アダプターをビデオカメラと電源コンセントから抜く。

■自宅で使うときなどは
AC アダプターを取り付けると、バッテリーの残量を気にせずに使うことができる。

■充電時間の目安
「充電時間の目安」(P.91)

バッテリー残量を調べる

1 録画・切・再生 「切」にする

2 液晶画面を開ける

3 決定/データ バッテリー残量と撮影可能時間を表示する
約 5 秒間表示します
ボタンを約 2 秒間押し続けると、約 15 秒間表示します

■通信エラーと表示されたときは
・ データボタンを何度か押してみる。
・ 電源 (バッテリーと AC アダプター) を取りはずし、再び取り付け、データボタンを押してみる。

それでも通信エラーと表示されるときは、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

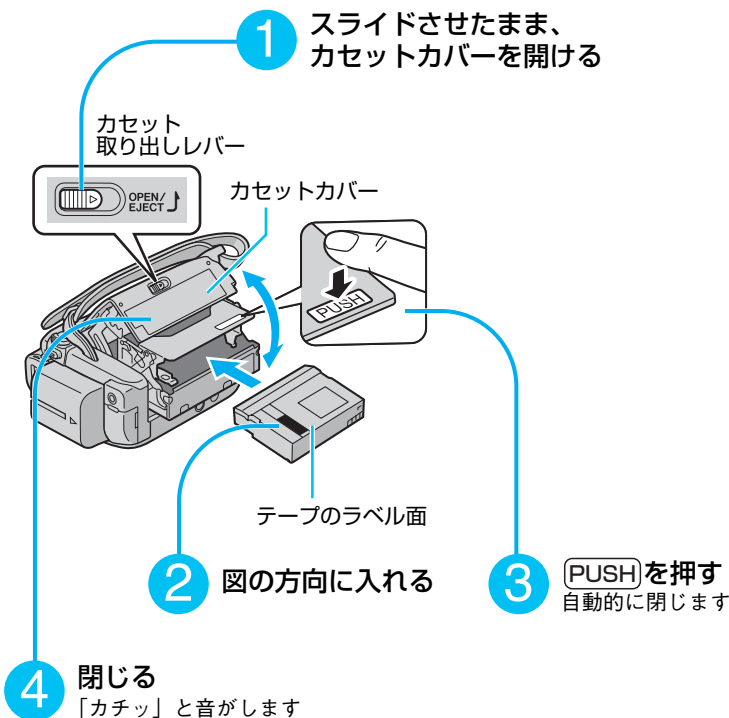
■より正しいバッテリー残量を得るには
バッテリー残量を正しく表示していないと思ったときは、バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。
ただし、高温や低温で長時間使ったバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、この操作を行ってもバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

お知らせ ●撮影可能時間は目安です。10 分単位の表示になります。

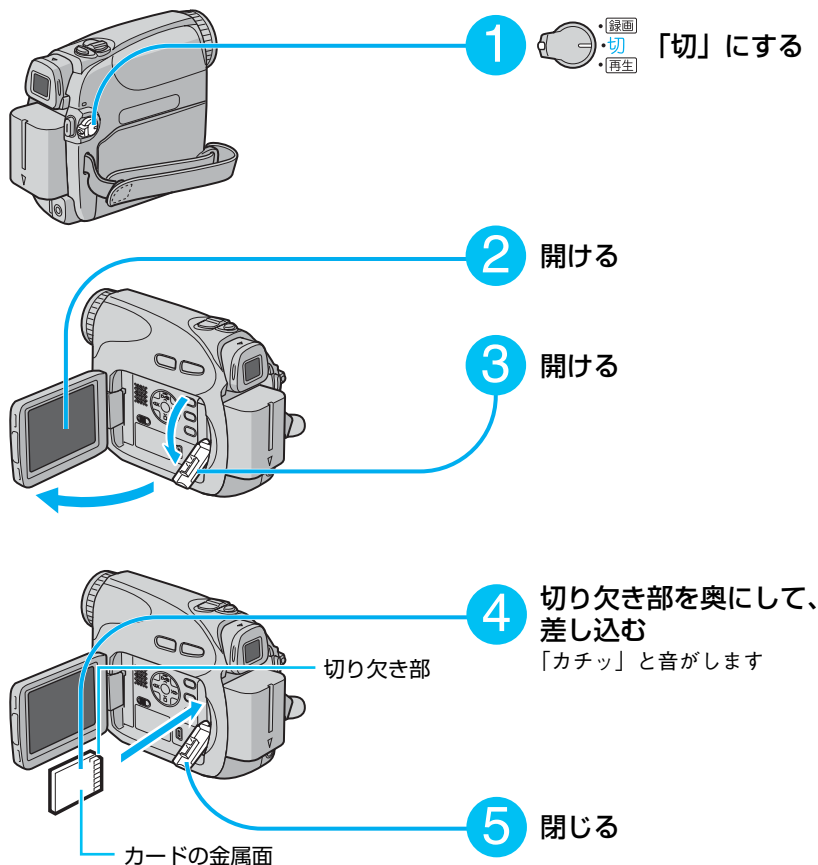
準備する 3 テープとカードを入れる

テープを入れる

動画 (以下、ムービー) を撮影するには、別売のミニ DV カセットテープ (以下、テープ) を使います。

準備
- ●バッテリーを取り付ける (P.16)
- ●AC アダプターで充電する (P.16)

■テープを取り出すには
手順 1 のあと、テープを取り出し、手順 3 と手順 4 を行う。

カードを入れる

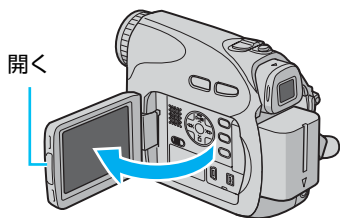
静止画を撮影するには、市販の SD メモリーカードやマルチメディアカード (以下、カードと総称) を使います。

■カードを取り出すには
手順 3 のあと、カードを「カチッ」と音がするまで押し込み、取り出す。

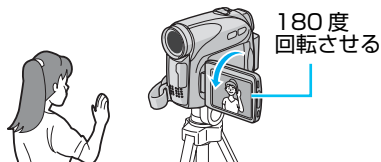
■新しく買ったカードを使うには
はじめて使用するときは、「フォーマット」(P.71) が必要です。

■動作確認済みのカード
「静止画の撮影可能枚数の目安」(P.89)

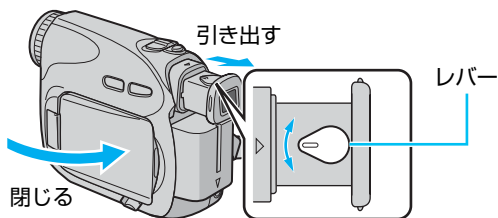
画面を準備する

液晶画面を使う

ファインダーと比べて、映像や表示内容が大きくて見やすい特徴があります。

■画面の明るさを調節するには
「画面明るさ」(P.65)

■自分を撮るには
液晶画面を開いたあと、図の方向へ180 度回す。
元に戻すときは、逆の方向へ回す。

■対面撮影するには
液晶画面を 180 度回転させてファインダーを引き出すと、撮影画面を被写体に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。

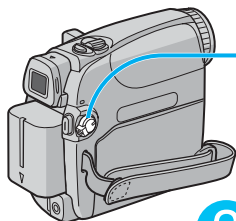
ファインダーを使う

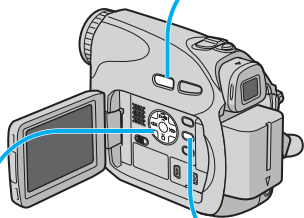
周りが明るすぎて液晶画面が見えにくいときや、バッテリーの消耗を防ぎたいときに使います。

■文字のピントがあっていないときは
ファインダーをのぞきながらレバーを動かし、文字がはっきり見えたところで止める。

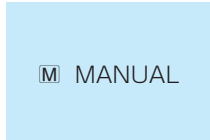
■画面の明るさを調節するには
「画面明るさ」(P.65)

お知らせ ●対面撮影以外では、液晶画面を開くとファインダーの表示が消えます。液晶画面を消してファインダーを表示させるには、システムメニューの「優先設定」を「ファインダー」に設定します (P.65)。

時計をあわせる

お買い上げ時に年月日と時刻表示を設定してください。
海外旅行の際にも設定することをお勧めします。

1 ・録画 ・切 ・再生

「録画」にする

2 AUTO 「M MANUAL」が表示されるまで、繰り返し押す

M MANUAL

数秒後、画面左上に M が表示されます

3 MENU 押す

メニューが表示されます

4

「表示」を左右ボタンで選び、

決定する

5

「時計合わせ」を上下左右ボタンで選び、

決定する

年月日の表示順序が反転します

6

「年､月､日」を上下ボタンで選び､

決定する

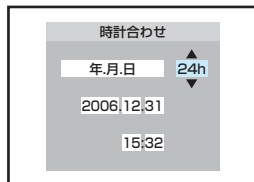
・ 好みに応じて、「月、日、年」や「日、月、年」を選ぶこともできる

時刻の表示方法が反転します

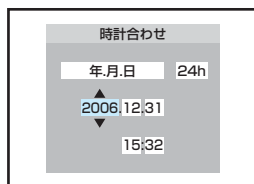
7

「24h」または「12h」を上下ボタンで選び､

決定する

西暦が反転します

8

西暦を正しく設定し､

決定する

9

月日と時刻を順に同様に設定し､

決定する

・ 手順 7 で「12h」を選んだときは、午前／午後 (AM ／ PM) も設定する

手順 5 の画面に戻ります

10

押す

メニューが消えます

■ 1 つまえの操作に戻るには

手順 5 では､ ⮌ を選んで決定する。

手順 6 ～ 9 では、左ボタン (◀◀) を押す。

時計用電池について

時刻を設定しても「日時を設定して下さい」と表示され続けるときは、時計用の内蔵電池が消耗しています。お買い上げの販売店、または最寄りのビクターサービス窓口へご連絡ください。

日常のお手入れ／海外で使うときは

お手入れのまえに、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 ご注意 ●ベンジンやシンナーは使わない。損傷や故障の原因になります。 ●化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ●ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因になります。
ファインダー	●市販のレンズブロワーでホコリを落とす。レンズブロワー以外を使用しない。

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

訪問する国や地域にあった変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

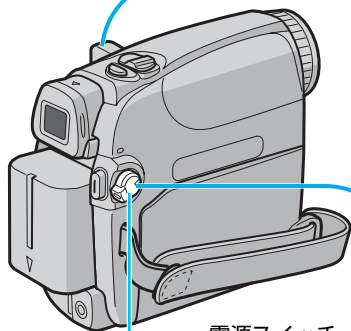
次の国や地域では、現地のテレビでも再生できます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です (P.33)。

■アメリカ合衆国 ■エクアドル ■エルサルバドル ■カナダ
■韓国 ■キューバ ■グァテマラ ■グアム
■コスタリカ ■コロンビア ■スリナム ■台湾
■トリニダード・トバコ ■ドミニカ ■ニカラグア ■ハイチ
■バハマ ■バミューダ ■バルバドス ■パナマ
■フィリピン ■プエルトリコ ■米領サモア ■ベネズエラ
■ペルー ■ホンジュラス ■ボリビア ■メキシコ
■ミクロネシア ■ミャンマー ■チリ

すぐ使う 1 撮影・再生の基本操作

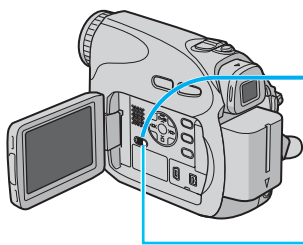
撮影・再生・編集など、すべての場面に共通する操作です。以降のページでは、これらの操作説明を 準 備 として省略する場合があります。

電源を入れる 電源スイッチ

■撮影するとき (P.26 、31)
「録画」にあわせる。

■再生 (P.30 、32) や編集 (P.44) するとき
「再生」にあわせる。

録画
切
再生

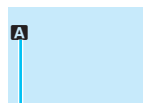
■電源を切るには
「切」にあわせる。

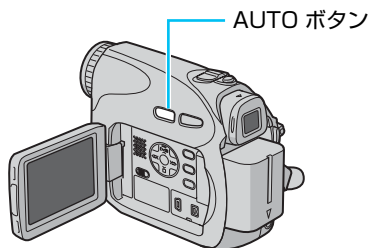
お知らせ
●電源スイッチが「録画」のときは、液晶画面の開閉やファインダーの出し入れで、電源の入／切ができます (クイックパワーオフ)。
●節電とテープ保護のため、操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。操作を再開するには、電源スイッチを動かすか、液晶画面を一度閉じて再び開きます。

テープ／カードを選ぶ　モード切替スイッチ

■ムービーを撮るとき／見るとき
「ビデオ」にあわせる。

■静止画を撮るとき／見るとき
「メモリー」にあわせる。

簡単に撮影する　AUTO ボタン

全自動で撮影したいときは、オート撮影にします。画面左上に 🅰 が表示されていることを確認してください。

オート撮影の表示

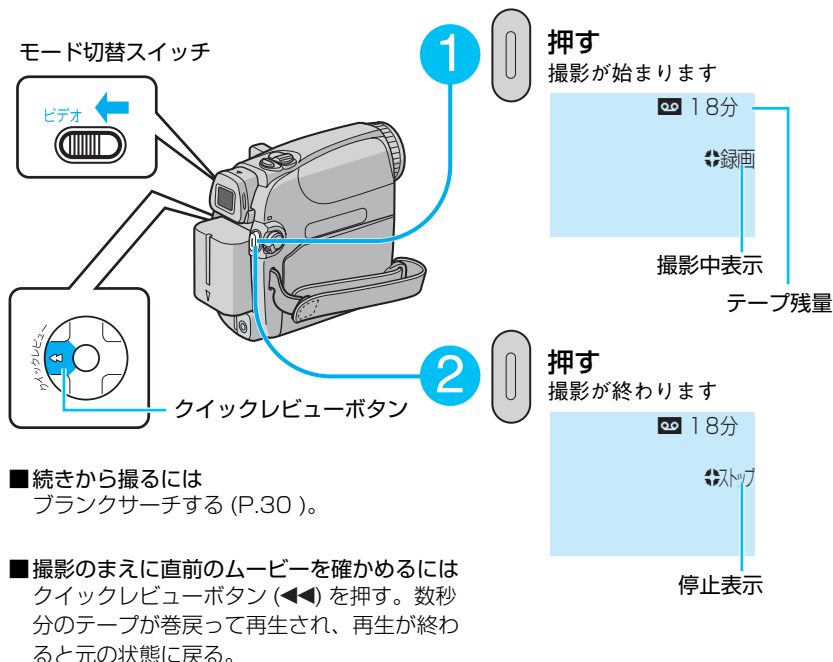
■表示が異なるときは
「🅰 AUTO」が表示されるまで、AUTO ボタンを繰り返し押す。数秒後、画面左上に 🅰 が表示される。

■マニュアル撮影するときは
「Ⓜ MANUAL」が表示されるまで、AUTO ボタンを繰り返し押す。数秒後、画面左上に Ⓜ が表示される。

Ⓜ MANUAL

ムービーを撮る

準備
● 電源スイッチ　　　　：「録画」
● モード切替スイッチ：「ビデオ」

■ **続きから撮るには**
ブランクサーチする (P.30)。

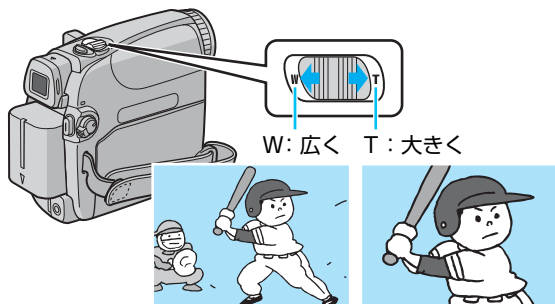
■ **撮影のまえに直前のムービーを確かめるには**
クイックレビューボタン (◀◀) を押す。数秒分のテープが巻戻って再生され、再生が終わると元の状態に戻る。

お知らせ ● テープ残量が表示されるまで、撮影開始から約 10 秒かかります。

撮影に失敗しないためには

撮影時にビデオヘッドが汚れていると、正常に記録できません。
撮影のまえに試し撮りをして再生し、映像と音声が正常に記録されていることを確認してください (P.72)。

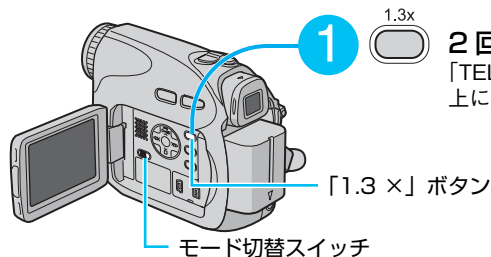
大きく／広く撮る ズーム

被写体を大きくしたり (望遠 : T)、撮影する範囲を広くしたり (広角 : W)、撮影中に自由に調節できます。

準 備
●電源スイッチ　　　　:「録画」
●モード切替スイッチ :「ビデオ」または「メモリー」

■接写するには
W 側いっぱいまで動かす。被写体に約 5cm まで接近できる。

■静止画を撮るときは
光学ズーム (15 倍まで) のみを使って撮影できます。

1.3 倍に拡大して撮る テレズーム

準 備
●電源スイッチ　　　　:「録画」
●モード切替スイッチ :「ビデオ」
●ワイド (16 : 9) 効果を使わずに (P.28)、撮影中または停止中

2 回押す
「TELE ON」と表示され、数秒後、画面の上に「TELE」と表示されます

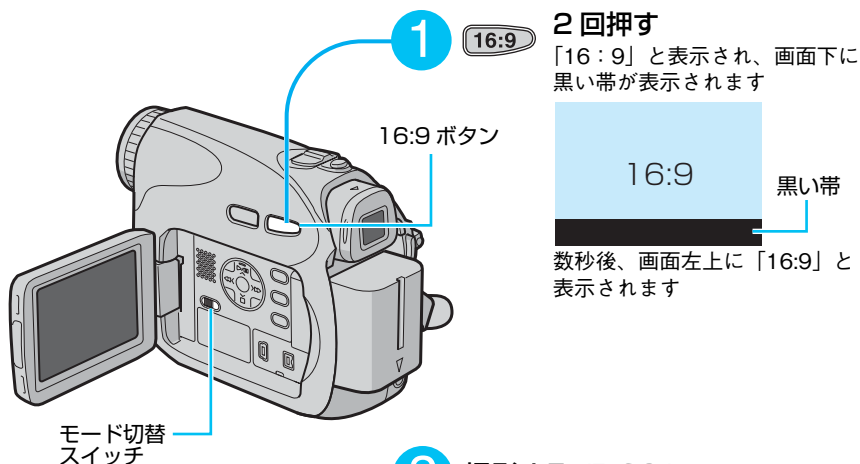
■通常の撮影に戻すには
「1.3 ×」ボタンを 2 回押し、「TELE OFF」と表示する。

すぐ使う 3 ワイド (16：9) で撮影する

ワイドテレビに適したムービー (画面比 16：9) を撮影できます。

準 備
- 電源スイッチ　　　　：「録画」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」

2 回押す
「16：9」と表示され、画面下に黒い帯が表示されます

数秒後、画面左上に「16:9」と表示されます

2 撮影する (P.26)

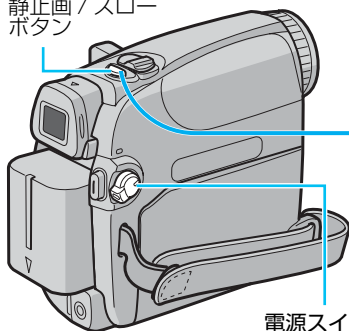
■通常の撮影 (4：3) に戻すには
16：9 ボタンを 2 回押し、画面下の黒い帯を消す。

お知らせ
- ワイドテレビで見るときは、メニューで「16：9」を「16：9TV」に設定します (P.69)。
- 従来型のテレビ (画面比 4：3) で見るときは、メニューで「16：9」を「4：3TV」に設定します (P.69)。

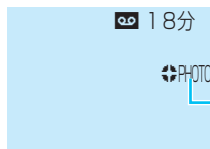
すぐ使う 4 映像に変化をつける

静止画／スロー効果を入れる 記念写真 ライブスロー

ムービーに静止画 (やスローモーション) を入れることができます。

準 備
- ●電源スイッチ ：「録画」
- ●モード切替スイッチ：「ビデオ」
- ●ムービー撮影 ：ワイド (16 ： 9) 効果を使わずに (P.28)、撮影中、または停止中

1 メニューで「静止画 / スロー」を「静止画」に設定する (P.63)

2 押す

押した瞬間の画像が、約 6 秒間、静止したまま録画されます

■同時にカードにも撮るには

メニューで「記録選択」を設定する (P.67)。

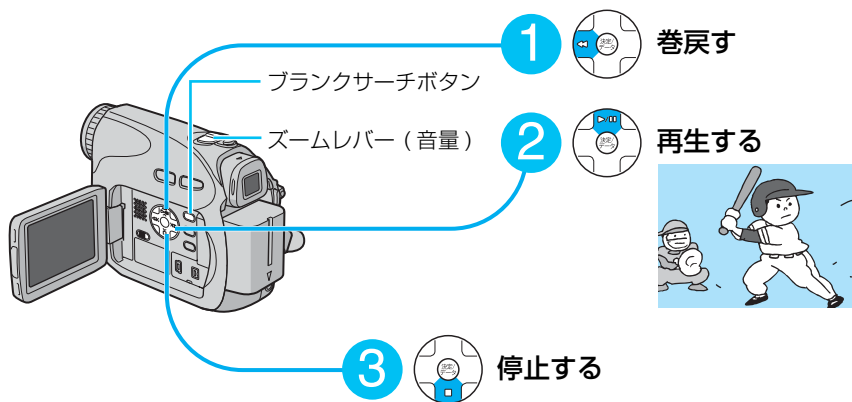
■スローモーション効果を入れるには

メニューで「静止画 / スロー」を「スロー」に設定する (P.63)。
「静止画 / スロー」ボタンを押してから約 1.5 秒間、1/4 倍速のスローモーションが録画される。

その他の効果を使う

マニュアル撮影に設定すると (P.36)、場面に変わり目でフェードインさせたり (場面切替)、古い写真のようにセピア色の映像を撮影したり (演出効果)、雪原やスポットライト下などの状況にあわせて撮影できます (プログラム AE)。詳しくは、「機能メニュー」(P.60) をご覧ください。

すぐ使う 5 ムービーを見る

準 備 ●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

■スピーカーの音量を調節するには
ズームレバーを動かす。

■無記録部分を探すには（ブランクサーチ）
ブランクサーチボタンを押す。
早送りを開始し、無記録部分の約３秒手前で停止します。そこから録画を開始すると、約３秒間映像が上書きされます。必要に応じて再生し、録画開始の位置を確認してください。

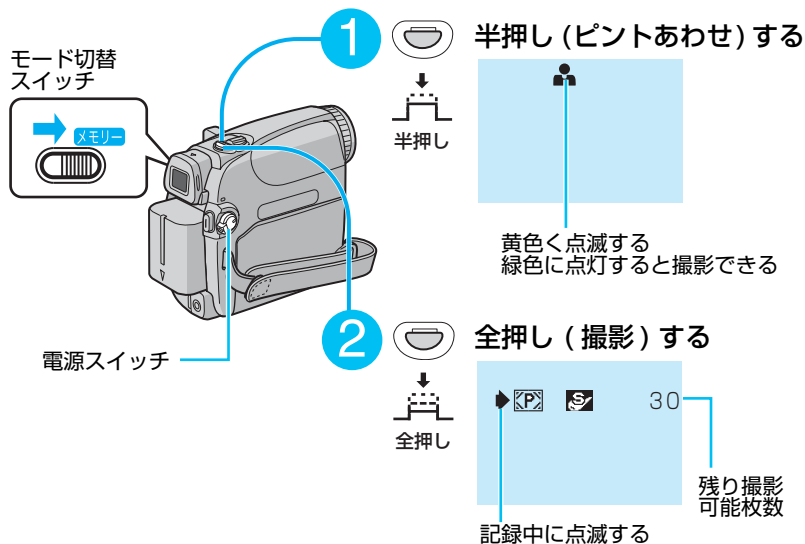
■スローモーション効果を楽しむには
メニューで「静止画／スロー」を「スロー」に設定する（P.63）。
「静止画／スロー」ボタンを押してから約 1.5 秒間、1/4 倍速のスローモーションで再生される。

■パソコンで見るには
「ムービーをパソコンに取り込む」（P.57）

■映像にノイズがでたり、音声がおかしいときは
ビデオヘッドをクリーニングする（P.72）。

お知らせ ●付属の映像／音声コードを本機に取り付けていると、スピーカーから音ができません。

すぐ使う 6 静止画をカードに撮る

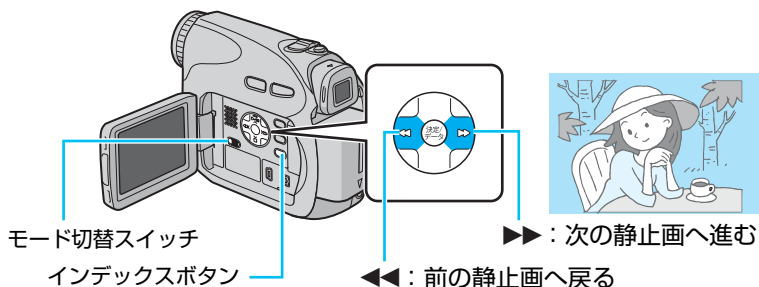
準 備
●電源スイッチ　　　　：「録画」
●モード切替スイッチ：「メモリー」

■撮った静止画をすぐ見るには
電源スイッチを「再生」にする。

■ズームするには
ズームレバーを動かす (P.27)。

■より多く撮るには
画質や画像サイズを変更する (P.67)。

お知らせ
● の黄色点滅中は撮影できません。
●節電のため、 操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチ を動かすか、液晶画面を一度閉じて再び開きます。
●撮影可 能枚数は、お使いのカードの容量や、静止画の画質やサイズによって変わります (P.89)。
●静止画は、付属の USB ケーブルを使ってパソコンに取り込むことができます (P.53)。

すぐ使う 7 静止画を見る

準 備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「メモリー」

続けて再生する スライドショー

1 **再生する**
スライドショーが始まります

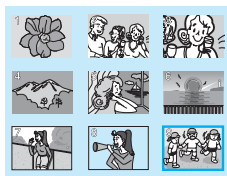
2 **停止する**

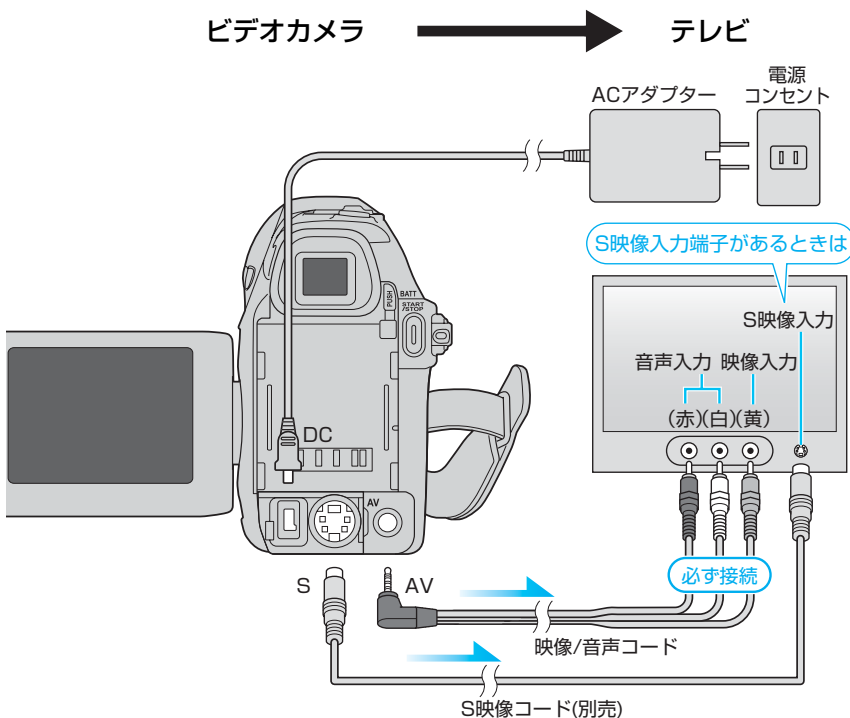
■逆方向に再生するには
スライドショーの再生中に「◀◀」ボタンを押す。

一覧で表示する インデックス

1 **押す**
インデックスが表示されます

2 **静止画を選び、**

決定する

テレビで見る

準 備 ●テレビの表示を、ビデオカメラを接続した外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2 など) にあわせる

■再生するには
ビデオカメラで見るときと同じ操作で再生する。ムービー (P.30)、静止画 (P.32)。

■日付などを表示するには
メニューで「画面表示切替」を設定する (P.69)。

■ワイド (16：9) 効果を使ったムービーを見るときは
メニューの「16：9」をテレビにあわせて設定する (P.69)。

お知らせ ●お使いのテレビの説明書もあわせてご覧ください。

もっと撮る 1

撮影効果を演出する

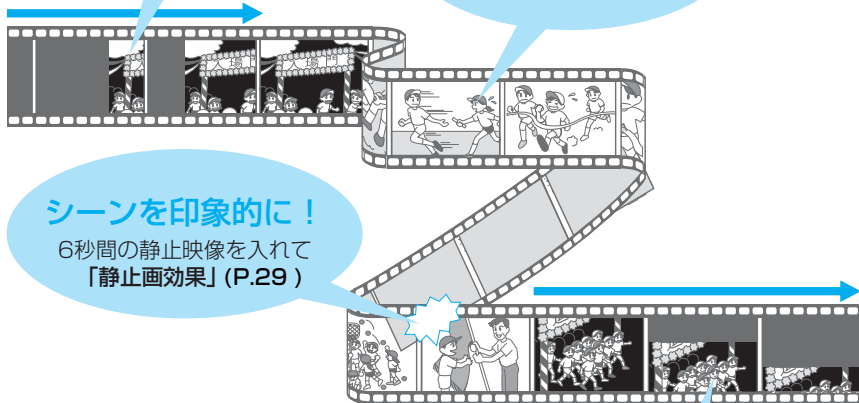
マニュアル撮影 (P.36) では、目的やシーンにあわせて撮影できます。効果の種類や設定方法については、「機能メニュー」(P.60) をご覧ください。

始まりにひと工夫！
ワイプインで映像が登場
「場面切替:スライド」

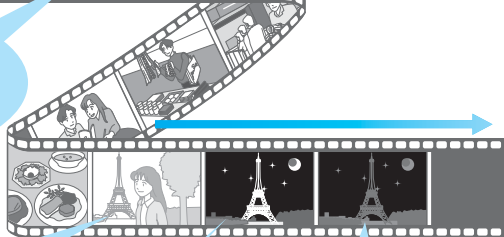
スポーツには！
動きは速くてもハッキリ撮れる
「プログラムAE:スポーツ」

シーンを印象的に！
6秒間の静止映像を入れて
「静止画効果」(P.29)

終わりにひと工夫！
ワイプアウトで映像も退場
「場面切替:スクロール」

色々な効果を液晶画面で見るにはデモモードが便利！(P.65)

シーンの幕開けは…
フェードインで美しく演出
「場面切替：白」

スポットライト
照明の中の人物を美しく！
「プログラムAE：スポットライト」

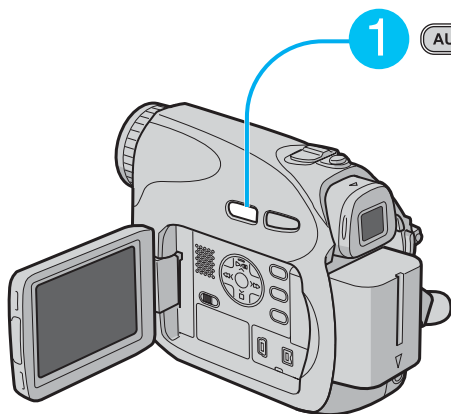
違う場面の境目に
続けて撮っても自然につながる
「場面切替：スライド」

セピア色の思い出
古い映画の雰囲気で…
「演出効果：セピア」

シーンの幕引きに…
フェードアウトで更けてゆく夜を
「場面切替：黒」

夜景もキレイ！
自然な映像で
「プログラムAE：夜景」

もっと撮る 2 マニュアル撮影をする

ピントを手動で調節したいときや、映像に効果 (エフェクト) を加えて撮影したいときなどは、あらかじめマニュアル撮影に切り替えます。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「録画」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

1 AUTO 「Ⓜ MANUAL」が表示されるまで、繰り返し押す

Ⓜ MANUAL

数秒後、画面左上に Ⓜ が表示されます

2 調節または設定する
・ ピントを手動であわせる (P.37)
・ 暗いところで撮る (P.38)
・ 明るさを補正する (P.40)
・ 映像に変化をつける (P.60)
・ その他を設定する (P.62)

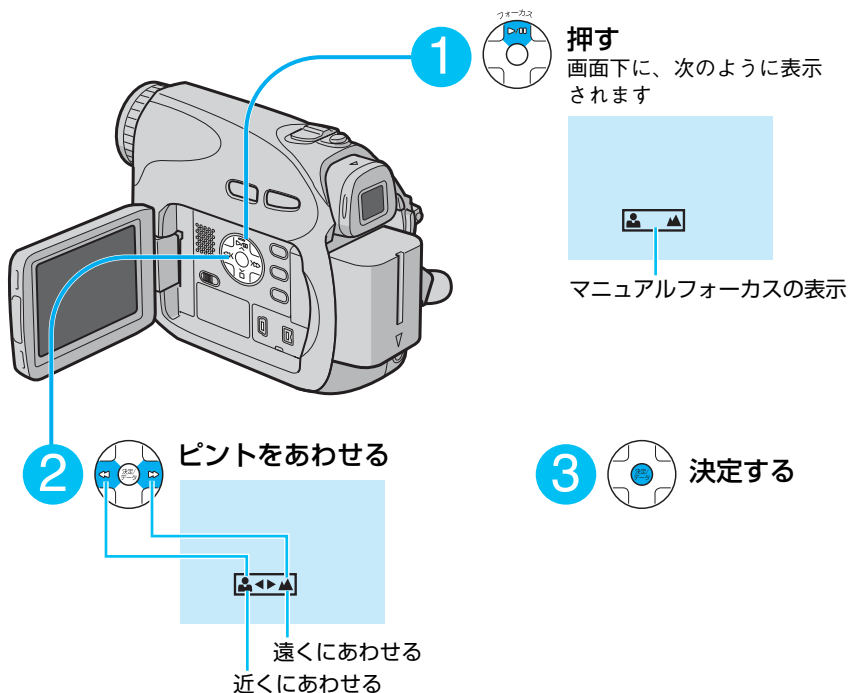
3 撮影する
・ ムービーを撮る (P.26)
・ 静止画をカードに撮る (P.31)

お知らせ ●手順 2 の調節および設定は、オート撮影 (Ⓐ) に設定する (P.25) と一時的に解除されます。しかし、マニュアル撮影 (Ⓜ) に戻すと、再び同じ条件で撮影できます。

もっと撮る 3

ピントを手動であわせる（マニュアルフォーカス）

通常の自動撮影（オートフォーカス）でピントがあいにくい場合や、画面端の被写体にピントをあわせたいときなどに行います。

準備
- ●電源スイッチ　　　　　：「録画」
- ●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
- ●AUTO ボタン　　　　：Ⓜ を表示する

■オートフォーカスに戻すには
フォーカスボタン (▶/II) を 2 回押して表示を消す。

■ズームするときは
望遠 (T) 側でピントをあわせてから広角 (W) 側にズームすると、ピントがずれにくい。

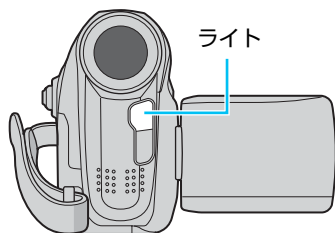
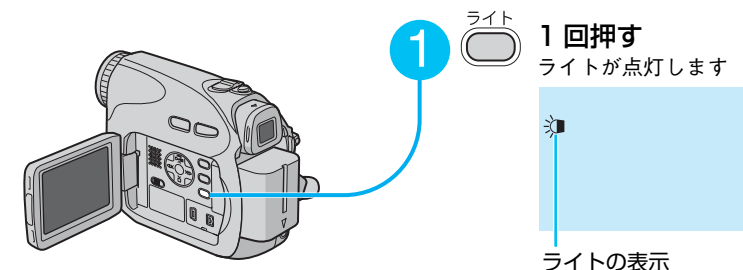
もっと撮る 4

暗いところで撮る

次の２つの機能は、それぞれを単独で使うことも、併用することもできます。

ライトで照らす

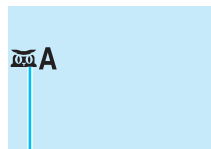
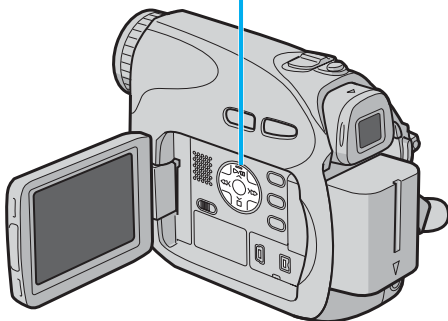
ご注意 ●ライトを直視しないでください。特に、小さなお子さまの目に光が直接入らないようにご注意ください。

準備
●電源スイッチ　　　　：「録画」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

■暗いときに自動的に点灯させるには
ライトボタンをもう一度押して、表示を「A」にする。

■ライトを消すには
が消えるまで、ライトボタンを繰り返し押す。

お知らせ ●シャッタースピードが遅くなるためにブレやすくなります。三脚などで固定することをお勧めします。

ナイトアイを使う

薄暗いところでは、より多くの光を取り込んで明るく撮影できます。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「録画」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
●AUTO ボタン　　　　：M を表示する

■明るいときは
表示から「A」が消え、一時的に通常の撮影に戻る。

■通常の撮影に戻すには
ナイトアイボタン (▶▶) を押して を消す。

お知らせ ●シャッタースピードが遅くなるためにブレやすくなります。三脚などで固定することをお勧めします。
●真っ暗な場所では撮影できません。

もっと撮る 5

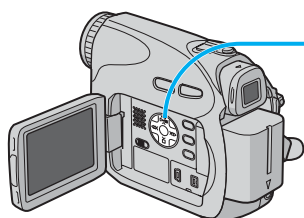
明るさを補正する

逆光で撮る 逆光補正

被写体の背後から光がさしているとき、被写体が暗くならないようにします。

準備
- 電源スイッチ：「録画」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
- AUTO ボタン：M を表示する

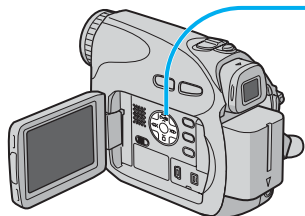
1 が表示されるまで、繰り返し押す

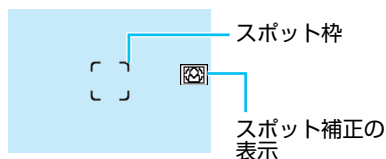
逆光補正の表示

■通常の撮影に戻すには

や が消えるまで、逆光補正ボタン（■）を繰り返し押す。

最適な明るさにする スポット補正

逆光補正がうまくいかないときや、画面の一部にあわせて明るさを補正したいときなどに使います。

準備
- 電源スイッチ：「録画」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
- AUTO ボタン：M を表示する

1 が表示されるまで、繰り返し押す

スポット枠が表示されます

2 スポット枠を左右に動かして明るさの基準にする場所を選び、決定する

■通常の撮影に戻すには
[図]や[図]が消えるまで、逆光補正ボタン（■）を繰り返し押す。

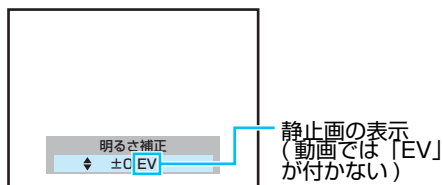
■明るさを固定するには
手順 2 で決定ボタンを 2 秒以上押し続け、[図]の隣に[L]を表示させる。

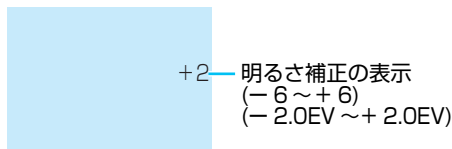
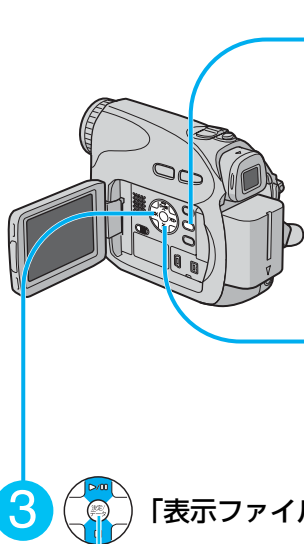
お知らせ ●ワイド (16:9) 効果を使っているときは、スポット補正を使えません。

手動で明るさを補正する

準 備
●電源スイッチ　　　　　：「録画」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
●AUTO ボタン　　　　：M を表示する

1 機能メニューで「明るさ補正」を「マニュアル」に設定する (P.61)

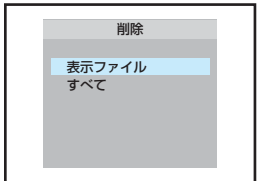
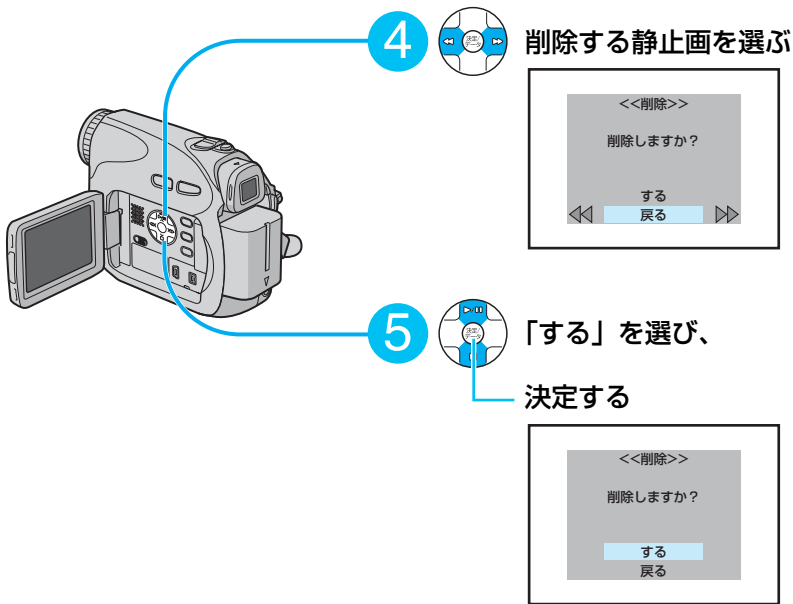
2 数値を調節し、決定する

3 押す

メニューが消えます

■通常の撮影に戻すには
機能メニューで「明るさ補正」を「オート」に設定する (P.61)。

■明るさを固定するには
手順 2 で決定ボタンを 2 秒以上押し続け、明るさ補正の数値の隣に L を表示させる。もう一度決定ボタンを押して通常の画面に戻ると、明るさ補正の表示の隣に L が表示されます。

もっと撮る 6

静止画を削除する

カードの容量がいっぱいになったときや、パソコンなどに取り込んで保存したあとは(P.53)、不要な静止画を削除しましょう。

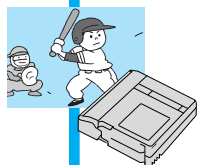
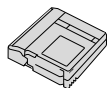
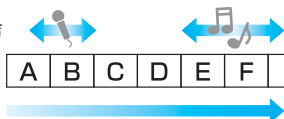
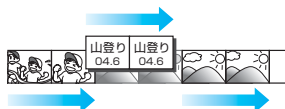
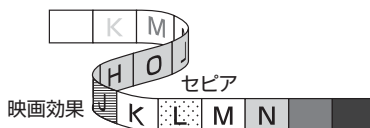
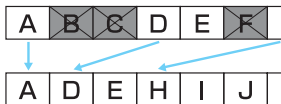
準備
- 電源スイッチ　　　　：「再生」
- モード切替スイッチ：「メモリー」

■削除を終えるには
手順 5 で「戻る」を選んで決定し、MENU ボタンを押してメニューを消す。

■すべての静止画を削除するには
手順 3 で「すべて」を選んで決定し、「する」を選んで決定する。

お知らせ
●削除した画像は元には戻りません。削除するまえに、内容をよく確認してください。
●プロテクト (P.71) された画像は削除できません。プロテクトを解除してから削除してください。

編集する 1

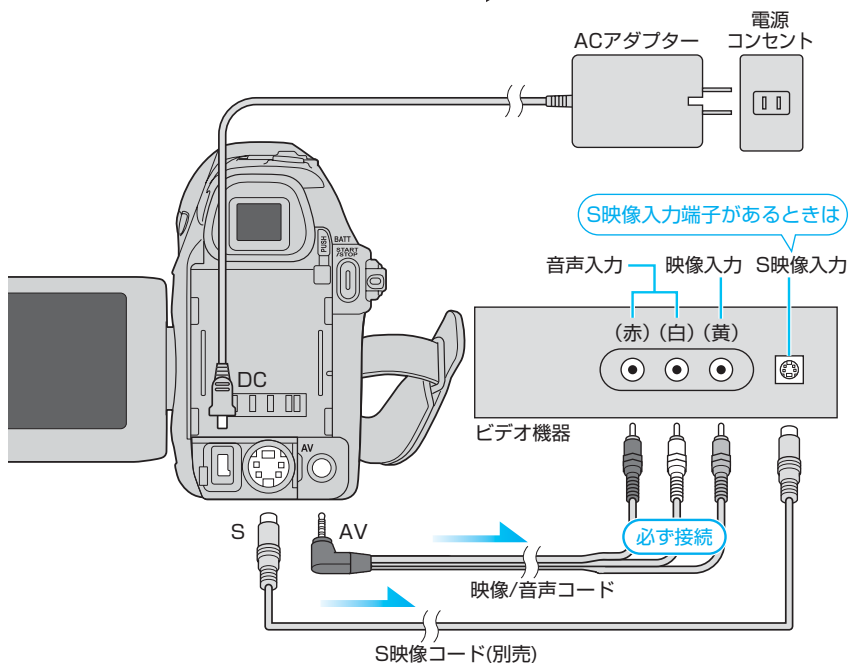
いろいろな編集

テープに撮影したムービーは、いろいろな方法で編集できます。映像を直接加工したり、ダビングやコピーしたりできます。

編集のしくみ		ページ
追加した音声 / 元の音声	●元の音声はそのまま、ナレーションや BGM を追加！ ●再生する音声も後から選べる。	P.50 P.52
(編集後)	●元の映像の上に、タイトルや場面を挿入！	P.50 P.51
映画効果 / セピア	●効果をつけた映像をダビング！ ●アップや雰囲気づくりも簡単。	P.10 P.46
(再生中) / (ダビング後)	●不要な場面は飛ばしてダビング！	P.10 P.46
無編集取り込み	●IEEE1394端子付きパソコンへ ● DV 編集ソフトで自在に編集！ ●編集後にホームページに活用！ ● DVD ビデオの作成も！	P.57

編集する 2 ダビングする

ビデオカメラのテープから、ビデオ機器のディスクやテープへダビング（複製）して保存できます。

接続する

準 備
- 電源スイッチ　　　　　：「切」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」

再生側（ビデオカメラ） → **録画側（ビデオ機器）**

■デジタルダビングするときは
ビデオカメラのDV端子と、ビデオ機器のDV入力端子を、DVケーブル(市販)で接続する。映像/音声コードは使いません。
デジタルダビングでは、設定した効果やタイムコードはダビングされません。

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

ダビング(複製)する

再生側(ビデオカメラ)	録画側(ビデオ機器)
	(ビクター製ビデオデッキの場合)

1

「再生」にする
電源が入ります
●映像に効果をつけるには
リモコンの「演出効果」を押して効果を選ぶ。

2

押す
再生が始まります
●選んだ効果を消すには
リモコンの「入/切」を押す。
●再生画面をズームするには
リモコンの「T」(大きく)や「W」(広く)を押す。

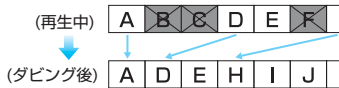
3

「録画」ボタンでダビングを始める
●飛ばしたい場面があるときは
「一時停止」ボタンで止め、「再生」ボタンで録画を再開する。

4

「停止」ボタンでダビングを終える

5

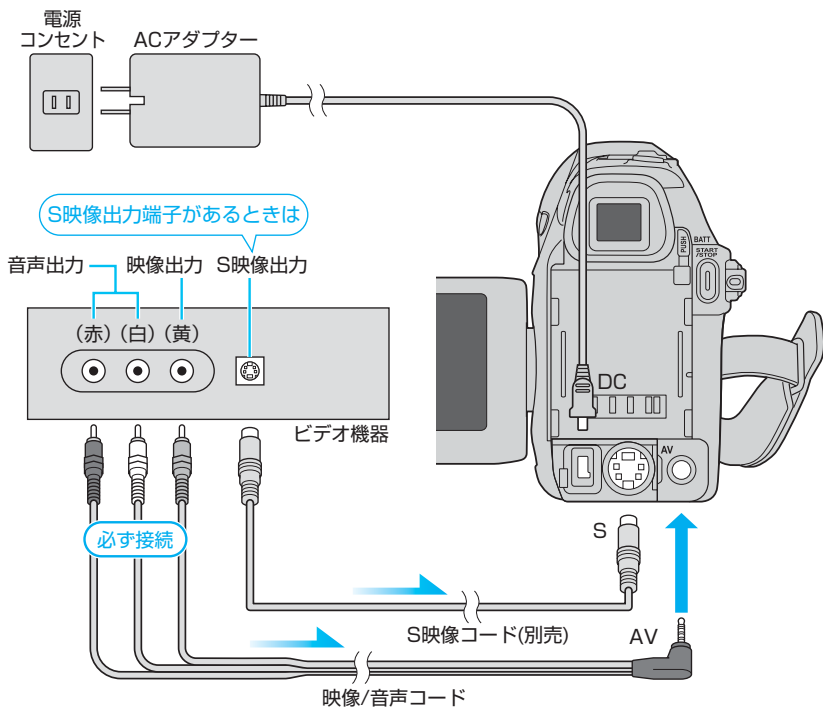
押す
再生が終わります

■日付などの表示を消すには
手順1のあと、メニューで次のように設定する(P.69)。
・日時表示　：「切」
・画面表示切替：「切」または「モニター」
・タイムコード：「切」

お知らせ ●ビデオカメラで無記録部分や映像の乱れた部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

編集する 3 ビデオ機器から録画する

今までにビデオ機器で録りためたビデオテープやテレビの映像などを、ビデオカメラのテープに録画できます。

接続する

準備
- 電源スイッチ　　　　：「切」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」
- 本機にテープを入れる (P.18)

1 図のように接続する

2 「再生」にする

・録画
・切
・再生

3 メニューで「アナログ入力」を「入」に設定する (P.69)

■デジタルで録画するときは
ビデオカメラの DV 端子 (P.8) と、ビデオ機器の DV 出力端子を、DV ケーブル (市販) で接続する。映像 / 音声コードは使いません。
メニューで「アナログ入力」を「切」に設定する (P.69)。

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

録画する

再生側 (ビデオ機器)	録画側 (ビデオカメラ)
1 電源を入れる	2 撮影ボタンを押す 録画待機状態になります
3 再生する	4 押す 録画が始まります
6 停止する	5 押す 録画が終わります

お知らせ ●お使いのビデオ機器などや再生するテープにより、映像が乱れることがあります。
●録画したテープをビデオカメラで再生するとき、「アナログ入力」を「入」に設定していると、映像が乱れることがあります。その場合は、「アナログ入力」を「切」に設定してください (P.69)。

編集する 4

映像や音声を追加する

追加の準備をする

ムービーに映像や音声を追加するときは、あらかじめ次の操作を行います。

準備
- ●付属のリモコンを用意する
- ●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 撮影、再生の両方のメニューで「タイムコード」を「入」に設定する (P.65 、69)

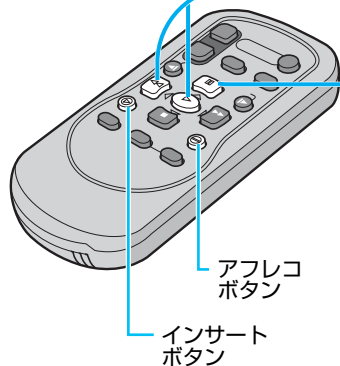
2 電源スイッチを「再生」にあわせる

3 再生する

4 追加を終える位置まで巻戻す

5 一時停止し、タイムコードを紙などに控える

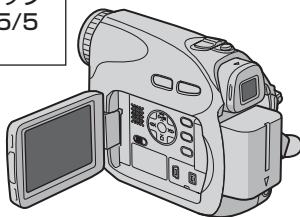
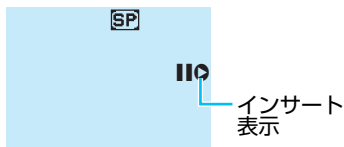
6 追加を始める位置まで巻戻す

7 一時停止する
↓
インサート編集 (P.51) またはアフレコ編集 (P.52) へ進む

お知らせ ●テープの無記録部分や誤消去防止ツマミが「SAVE」側になっている場合は、編集できません。

映像を追加する インサート編集

タイトルなど別の場面を、元の映像に上書きして追加できます。

お知らせ ●LP モード (P.63) で撮影したムービーには、映像を追加できません。

準 備 ●付属のリモコンを用意する
●追加の準備をする (P.50)

1 一時停止 を押したまま、インサート を押す
撮影待機になります

2 追加する映像を準備する

3 スタート/ストップ 撮影を始める

4 タイムコードが控えておいた数値 (追加を終える位置) になるときに、

スタート/ストップ 撮影を終える

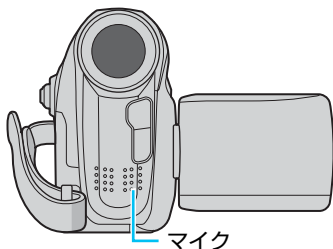
5 停止 編集を終える

■追加する映像に効果をつけるには
メニューで「場面切替」や「プログラム AE」を設定する (P.61)。

音声を追加する アフレコ編集

ナレーションや BGM、効果音などを追加できます。再生時には、元の音声と追加した音声を選んで再生できます。

お知らせ ●LP モードや 16BIT(P.63) で撮影したムービーには、音声を追加できません。

準備
●付属のリモコンを用意する
●追加の準備をする (P.50)

1 一時停止 を押したまま、アフレコ を押す
撮影待機になります

2 再生 録音を始める

3 タイムコードが控えておいた数値 (追加を終える位置) になるときに、
停止 録音を終える

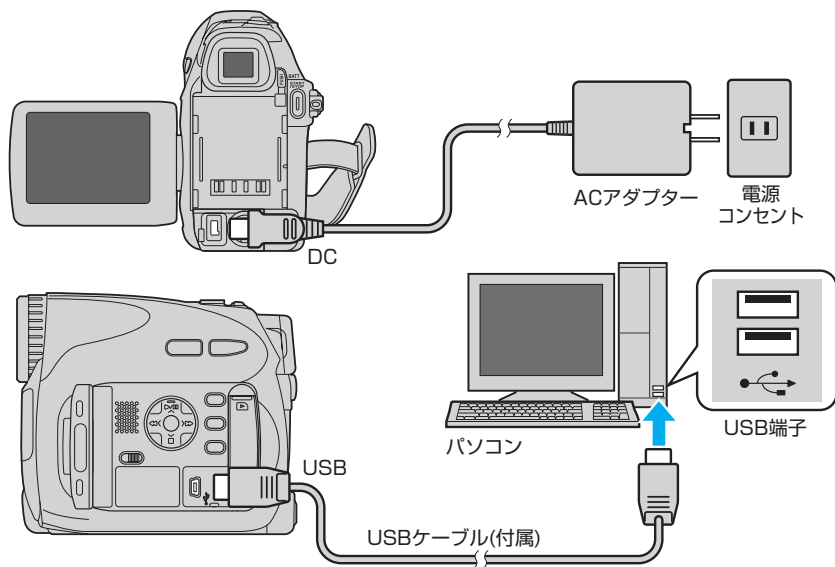
■追加した音声を聞くには
メニューで「アフレコ音声」を「入」または「ミックス」に設定する (P.69)。

■外部機器の音を追加するには
① CD プレーヤーなどの外部機器を、AV 端子に接続する。
② メニューで「アナログ入力」を「入」に設定する (P.69)。

編集する 5 パソコンに接続する

USB ケーブルで接続する

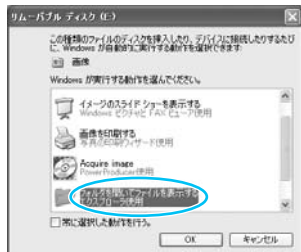
付属の USB ケーブルでパソコンに接続すると、カードに記録した静止画ファイルをパソコンへコピーできます (P.54)。

準 備
- 電源スイッチ　　　　：「再生」
- モード切替スイッチ：「メモリー」

USB ケーブルで接続すると、パソコンの「マイコンピュータ」に、ビデオカメラのカードが「リムーバブルディスク」として表示されます。

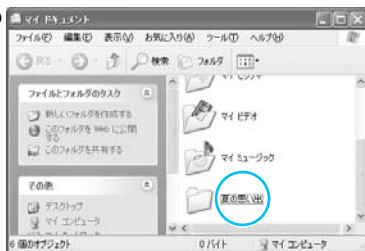
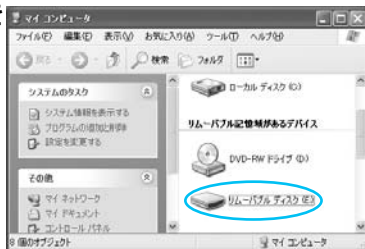
※ Macintosh の場合は、「No name」アイコンがデスクトップにマウントされます。

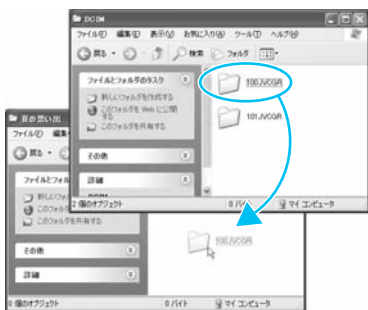
■動作環境 (お使いになれるパソコン)

パソコン	:	USB 端子を標準装備する機種
OS	:	Windows Me、Windows 2000、Windows XP (すべてプリインストール版) Mac OS X 10.1.5、10.2.1 ～ 10.2.8、10.3.1 ～ 10.3.9、 10.4.2 ～ 10.4.3

■動作を選んでくださいと表示されたときは
「フォルダを開いてファイルを表示する」をクリックし、「OK」をクリックする。

■パソコンにカードが表示されないときは
設定と接続を確認する (P.76)。

ファイルをパソコンにバックアップする

1 パソコンのなかに静止画を入れるフォルダを作る

2 カード (リムーバブルディスク) を開き、「DCIM」を開く

3「100JVCGR」を、手順 1 のフォルダへコピーする

・「100JVCGR」をクリックしたままドラッグし、手順 1 のフォルダの上で放します (ドラッグ& ドロップ)。
・「101JVCGR」以降のフォルダがある場合、これらもコピーします。

■静止画を表示するには

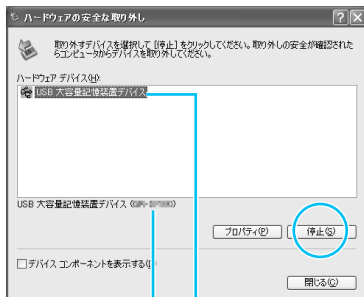
バックアップしたフォルダを開き、静止画ファイルをダブルクリックする。
拡張子 (.JPG) は、パソコンの設定によっては表示されません。

■静止画を印刷するには

Windows XP の場合、静止画ファイルを選び、「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。その他の OS の場合、市販の画像処理アプリケーションをご購入ください。Internet Explorer では、正しく印刷できないことがあります。

USB ケーブルを取りはずす

1 タスクトレイの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする

2「停止」をクリックする

3「OK」をクリックする

4「閉じる」をクリックする

5 USB ケーブルを取りはずす

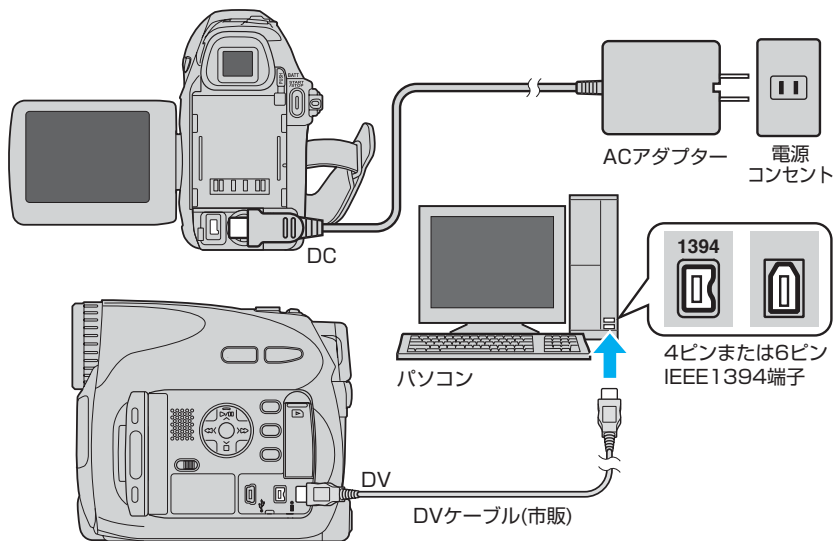
■Macintosh の場合は
①カードのアイコンを Dock の「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップする。
② USB ケーブルを取りはずす。

お知らせ
●カードのなかには、静止画以外のフォルダやファイルも記録されています。
●カードのなかのフォルダとファイルは、パソコンで削除・移動・名称変更しないでください。

ムービーをパソコンに取り込む

IEEE1394 端子 (i.LINK 端子 /FireWire 端子) を標準装備したパソコンをお使いの場合、DV ケーブルでパソコンとビデオカメラを接続して、ムービーをパソコンに取り込むことができます。

準 備

●DV ケーブル (市販) を用意する
●市販の DV 編集ソフトウェアをインストールする
●電源スイッチ　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

詳しくは、ご利用のソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

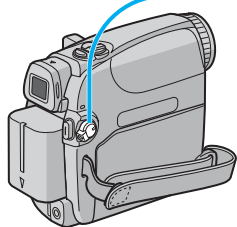
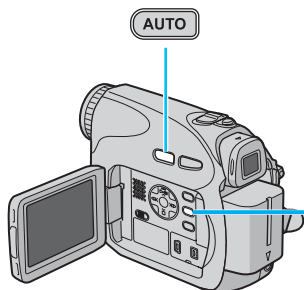
■ビデオチャットをするときは (Web カメラ)

Windows XP をお使いの場合は、Windows Messenger を使ってビデオチャットを行えます。詳しくは、Windows Messenger のヘルプをご覧ください。

お知らせ

●DV ケーブルを用意する際は、お使いのパソコンの端子の形状を確認してください。
●ビデオカメラ・パソコン・DV ケーブル、それぞれの端子の形状と方向を確認してから接続してください。

設定する 1 メニューを表示する

撮影の効果や色合い、光のバランスの変更、画面表示の切替え、編集作業など、お買い上げ時の設定を変えて操作できます。

メニューの例

■設定せずにメニューを消すには
MENU ボタンを押す。

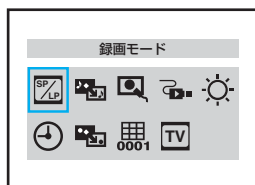
■すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すには
システムメニューの「プリセット」で「実行」を選ぶ (P.65)。

撮影のメニュー

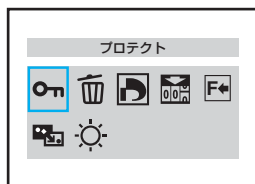
準 備
●電源スイッチ　　　　：「録画」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
●AUTO ボタン　　　：M を表示する

アイコン	メニュー	ページ
	機能	P.60
	設定	P.62
	システム	P.64
	表示	P.64
	静止画撮影	P.66

● メニューを表示したとき、文字が消えている機能は使えません。

ムービーの再生や編集のメニュー

準 備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

メニュー	ページ
ムービーの再生メニュー	P.68

静止画の設定や整理のメニュー

準 備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「メモリー」

メニュー	ページ
静止画の再生メニュー	P.70

設定する 2

機能メニュー

このメニューの設定は、マニュアル撮影 (M) のときに有効です。オート撮影 (A) では、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

準 備

- 電源スイッチ　　　　　：「録画」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
- AUTO ボタン　　　　：M を表示する

1 MENU 押す

メニューが表示されます

2 「機能」を選び、決定する

3 項目を選び、決定する

4 項目を選び、決定する

手順 3 の画面に戻ります

■設定が終わったら

MENU ボタンを押して、メニューを消す。

■1 つまえの操作に戻るには

手順 3 では、を選んで決定する。

手順 4 では、左ボタン (◀◀) を押す。

メニュー項目		選択肢と役割	ページ
機能			
	場面切替	●切　：場面切替を使わない。 白　：白い画面でフェードイン、フェードアウト。 黒　：黒い画面でフェードイン、フェードアウト。 スライド　：映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 スクロール：映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ・場面切替を設定すると、撮影開始時(イン)と終了時(アウト)の撮影ボタンを押した直後に、設定した効果があらわれます。	P.34
EF	**演出効果**	●切　：映像に変化をつけない。 セピア　：古い写真のようにセピア色になる。 白黒　：白黒映画のようにモノクロになる。 映画効果　：速いコマ落として、映画のような効果をだす。 ストロボ　：コマ落として、連続写真のような効果をだす。	P.34
	プログラムAE	●切　：プログラムAEを使わずに撮影する。 スポーツ　：動きの速い被写体を、1コマ1コマ鮮明に撮影する。 スノー　：晴れた日の雪原など、周囲が明るく映りすぎることを防ぐ。 スポットライト：スポットライトが当たって、被写体が明るく映りすぎることを防ぐ。 夜景　：夜景などを自然な感じに撮影する。	P.34
	シャッタースピード	●切　：シャッタースピードを自動的に調節する。 1/60～1/4000：シャッタースピードを設定して、シャッタースピードによる撮影効果を狙う。 ・数値を小さくする(シャッタースピードを上げる)と、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮影できる。(被写体が暗くなることがあります。) ・1/100にすると、蛍光灯のちらつきを補正できます。(50Hz地域のみ)	—
	明るさ補正	●オート　：自動的に明るさを調節する。 マニュアル：－6～±0～＋6の範囲で、明るさを1刻みで補正する。上下ボタン(▶/II、■)で調節し、決定する。	P.41
WB	**白バランス**	●AUTO オート　：自動的にホワイトバランス調節する。 ワンタッチ：被写体の色をより正確に調節する。 ①白い紙を用意し、画面全体に写す。 ②「」の点滅が止まるまで、決定ボタンを押し続ける。 ③もう一度、決定ボタンを押す。 はれ　：晴れた日の屋外で撮影するときに選ぶ。 くもり　：曇りの日や日陰で撮影するときに選ぶ。	—
	テレマクロ	●切：ズームのT側で約1mまで接近して撮影できる。 入：ズームのT側で約50cmまで接近して撮影できる。	—

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 3 設定メニュー

このメニューの設定は、撮影時に有効です。

準備
- ●電源スイッチ：「録画」
- ●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
- ●AUTO ボタン：M を表示する

1 MENU **押す**

メニューが表示されます

2 「設定」を選び、

決定する

3 項目を選び、

決定する

4 項目を選び、

決定する

手順 3 の画面に戻ります

■設定が終わったら

MENU ボタンを押して、メニューを消す。

■1 つまえの操作に戻るには

手順 3 では、を選んで決定する。

手順 4 では、左ボタン (◀◀) を押す。

メニュー項目		選択肢と役割	ページ
設定			
SP/LP	録画モード	●SP：標準モード。(大切な録画に) LP：長時間モード。撮影時間が SP モードの 1.5 倍になる。 ・LP モードで撮影したテープは、本機で再生することをお勧めします。ほかのビデオ機器で再生すると、モザイク状のノイズがでたり、再生できないことがあります。	P.4
	音声モード	●12BIT：アフレコ編集できる。 16BIT：高音質で録音する。	P.52
	手ぶれ補正	切：設定しない。 ●入：手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・三脚などで固定して撮影するときは「切」にします。「入」にすると、不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあります。 ・次の場合は補正しきれないことがあります。手ぶれが大きいとき。被写体にコントラスト (明暗差) がほとんどないとき。	—
	静止画 / スロー	●静止画：静止画 / スローボタンを押すと、その瞬間の画像が、6 秒間、静止したまま録画される。 スロー：静止画 / スローボタンを押すと、押してから約 1.5秒間、1/4 倍速のスローモーションが録画される。	P.29
	ズーム	15 倍：光学ズームのみ。(画質が劣化しない) ●60 倍：デジタルズームできる。(倍率を上げると、画質が劣化する) 200 倍：デジタルズームできる。(倍率を上げると、画質が劣化する)	P.27
AGC	感度アップ	切：暗いときも自然のままの明るさで撮影する。 ●AGC：暗いときは電気的に明るさを調節する。 オート A：暗いときにAGCよりも明るく調節する。	—
	ウィンドカット	●切：設定しない。 入：風による雑音を低減する。	—
TV	16：9	ワイド (16：9) 効果を使って撮影したムービーをテレビで見るときに設定します。 ●4：3TV：従来型のテレビ (画面比 4：3) で見る場合。 16：9TV：ワイドテレビ (画面比 16:9) で見る場合。 ・通常の設定 (4：3) で撮影したムービーを見るときは、どちらに設定しても同じ表示になります。	P.28

●印は、お買い上げ時の設定です。

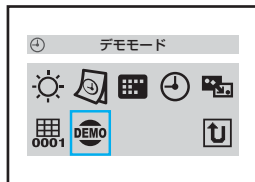
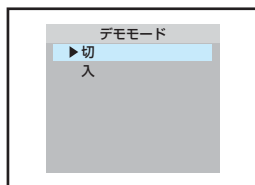
設定する 4 システム／表示メニュー

これらのメニューの設定は、撮影時と再生時に有効です。

準 備
- ●電源スイッチ　　　　　：「録画」
- ●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」
- ●AUTO ボタン　　　　：M を表示する

1 MENU 押す
メニューが表示されます

2 「システム」または「表示」を選び、
決定する

3 項目を選び、
決定する

4 項目を選び、
決定する
手順 3 の画面に戻ります

■設定が終わったら
MENU ボタンを押して、メニューを消す。

■1 つまえの操作に戻るには
手順 3 では、を選んで決定する。
手順 4 では、左ボタン (◀◀) を押す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
システム		
操作音	切：操作音を消す。 ●入：操作するごとに操作音を鳴らす。	—
プリセット	実行：メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。 戻る：システムメニューの一覧に戻る。	—
優先設定	●液晶モニター：液晶画面を優先的に使う。 ファインダー：ファインダーを優先的に使う。 ・液晶画面を開いてファインダーを引き出した場合、どちらを優先的に表示するかを設定します。	P.20
リモコン	切：リモコン操作を受けつけない。 ●入：リモコンで操作できる。	—

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
表示		
画面明るさ	－5～±0～＋5の範囲で、画面の明るさを調節する。上下ボタン(▶/Ⅱ、■)で調節し、決定する。	—
時計合わせ	年月日・時刻とその表示方法を設定する。	P.21
LANG./言語	●日本語：メニューを日本語で表示する。 ENGLISH：メニューを英語で表示する。	P.93
日時表示（撮影時のみ）	●切：表示しない。 入：表示する。 ・再生時の日時表示は別に設定します(P.69)。	P.11 P.33
画面表示切替（撮影時のみ）	モニター：テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 ●モニター/TV：テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。 ・再生時の画面表示は別に設定します(P.69)。	P.11
タイムコード（撮影時のみ）	●切：表示しない。 入：表示する。 ・再生時のタイムコード表示は別に設定します(P.69)。	P.11
デモモード	切：設定しない。 ●入：テープを入れずに電源スイッチを「録画」にあわせると、機能(P.61)の一部をデモで確認できる。	—

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 5

静止画撮影メニュー

このメニューの設定は、静止画の撮影時に有効です。

準備
- ●電源スイッチ　　　　:「録画」
- ●モード切替スイッチ :「ビデオ」または「メモリー」
- ●AUTO ボタン　　　 : M を表示する

1 MENU 押す
メニューが表示されます

2 「静止画撮影」を選び、
決定する
手順 3 の画面に戻ります

3 項目を選び、
決定する

4 項目を選び、
決定する
手順 3 の画面に戻ります

■設定が終わったら
MENU ボタンを押して、メニューを消す。

■1 つまえの操作に戻るには
手順 3 では、を選んで決定する。
手順 4 では、左ボタン (◀◀) を押す。

メニュー項目		選択肢と役割	ページ
静止画撮影			
	画質設定	●ファイン　　：高画質(撮影枚数が少ない)。 スタンダード：撮影枚数が多い。	P.89
	画像サイズ(静止画のみ)	640 × 480　：撮影枚数を多くしたいとき。 1024 × 768：パソコンで見たいとき。 ●1280 × 960：印刷したいとき。	—
	記録選択	●➡テープ　：テープのみに記録する。 ➡テープ／➡カード：テープとカードの両方に記録する。	P.29

●印は、お買い上げ時の設定です。

はじめに
準備する
すぐ使う
もっと撮る
編集する
設定する
困ったときは
その他

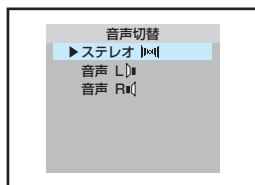
設定する 6 ムービーの再生メニュー

このメニューの設定は、ムービーの再生時に有効です。撮影時には影響しません。

準 備
- ●電源スイッチ　　　　：「再生」
- ●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 MENU 押す
メニューが表示されます

2 項目を選び、
決定する

3
項目を選び、
決定する
手順 2 の画面に戻ります

■設定が終わったら
MENU ボタンを押して、メニューを消す。

■1 つまえの操作に戻るには
手順 3 では、左ボタン (◀◀) を押す。

メニュー項目		選択肢と役割	ページ
	録画モード	●SP：標準モード(大切な録画に)。 LP：長時間モード。撮影時間がSPモードの1.5倍になる。 ・LPモードで撮影したテープは、本機で再生することをお勧めします。ほかのビデオ機器で再生すると、モザイク状のノイズがでたり、再生できないことがあります。	P.4
	音声切替	●ステレオ：左右の音声を両方とも再生する。 音声L：左の音声のみ再生する。 音声R：右の音声のみ再生する。	—
	アフレコ音声	●切：撮影時の音声を再生する。 入：アフレコ音声を再生する。 ミックス：撮影時の音声とアフレコ音声を同時に再生する。	P.52
	アナログ入力	●切：アナログ入力を無効にする。 入：アナログ入力できるようになる。 ・映像/音声コードとS映像コードを両方とも接続していると、S映像コードの映像信号が優先されます。	P.48
	画面明るさ	−5〜±0〜+5の範囲で、画面の明るさを調節する。上下ボタン(▶/⏸、■)で調節し、決定する。	—
	日時表示(再生時のみ)	●切：表示しない。 入：表示する。 ・撮影時の日時表示は別に設定します(P.65)。	P.13
	画面表示切替(再生時のみ)	切：画面、テレビ、ビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 ●モニター：テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 モニター/TV：テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。 ・撮影時の画面表示は別に設定します(P.65)。	P.33
0001	タイムコード(再生時のみ)	●切：表示しない。 入：表示する。 ・撮影時のタイムコード表示は別に設定します(P.65)。	P.13
TV	16：9	ワイド(16：9)効果を使って撮影したムービーをテレビで見るときに設定します。 ●4：3TV：従来型のテレビ(画面比4：3)で見る場合。 16：9TV：ワイドテレビ(画面比16：9)で見る場合。 ・通常の設定(4：3)で撮影したムービーを見るときは、どちらに設定しても同じ表示になります。	P.28

●印は、お買い上げ時の設定です。

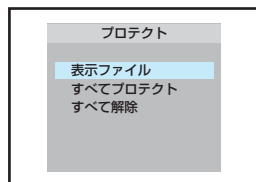
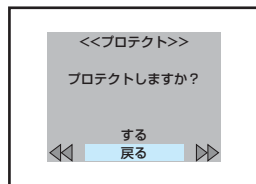
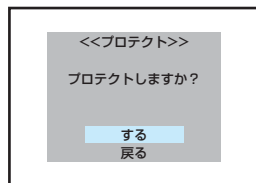
設定する 7 静止画の再生メニュー

このメニューの設定は、静止画の撮影時と再生時に有効です。

準 備
- ●電源スイッチ　　　：「再生」
- ●モード切替スイッチ：「メモリー」

1 MENU **押す**
メニューが表示されます

2 **項目を選び、**
決定する

3 **項目を選び、**
決定する

4 **静止画を選ぶ**
・手順３で「表示ファイル」
　を選んだときに行う

5 **「する」を選び、**
決定する

■設定や操作が終わったら
MENU ボタンを押して、メニューを消す。

メニュー項目		選択肢と役割
	プロテクト	表示ファイル　：表示した静止画を保護する、または保護を解除する。 すべてプロテクト　：すべての静止画を保護する。 すべて解除　：すべての静止画の保護を解除する。
	削除	表示ファイル　：表示した静止画を削除する。 すべて　：すべての静止画を削除する。
	DPOF	表示ファイル　：表示した静止画の印刷枚数（最大 15 枚）を指定する。 すべて 1 枚　：すべての静止画を 1 枚ずつ印刷するよう指定する。 リセット　：すべての静止画の印刷枚数を 0 枚に戻す。 ・DPOF(Digital Print Order Format) 対応のプリンターの場合、カードのなかの指定された静止画を、設定した枚数だけ、自動的に印刷できます。 ・静止画が 1000 枚以上あると、DPOF を設定できません。
	番号リセット	新たにフォルダを作成し、「0001」からはじまるファイル名をつけて記録する。これまでの静止画を、これから撮影する静止画と区別しやすくなる。
	フォーマット	カードのなかにある静止画をすべて消去する。 ・万一、カードの読み書きができなくなるなどの不具合が生じた場合に、フォーマットすることで機能を回復できることがあります。 ・フォーマットすると、プロテクトしたファイルも消去されます。
	画面表示	切　：フォルダ番号とファイル番号　(100-0001 など)、バッテリー残量表示 ( ) を表示しない。 ●入　：これらを表示する。
	画面明るさ	－5 ～± 0 ～ +5 の範囲で、画面の明るさを調節する。上下ボタン (▶/II、■) で調節し、決定する。

●印は、お買い上げ時の設定です。

故障かなと思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源（バッテリーと AC アダプター）を取りはずし、再び取り付ける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または ビクターサービス窓口へご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	映像にノイズがでたり音声がおかしい ●モザイク画（ブロック状のノイズ）がでる。 ●黒色やモザイク画の横しまがでる。 ●音声が途切れる。 ●音や映像がでない。 ●青い画面になる。	●ビデオヘッドが汚れています。 →ミニ DV ヘッドクリーナー（別売）でクリーニングする。 →終わったら、撮影や再生をして確認する。 ミニ DV ヘッドクリーナー (CL-DVCA) 別売 ※ヘッドが磨耗するので、長時間繰り返しクリーニングしないでください。 ※詳しくはヘッドクリーナーの説明書をご覧ください。 ■撮影に失敗しないためには 撮影時にビデオヘッドが汚れていると、正常に記録できません。 ●撮影するまえに試し撮りをする。撮影した部分を再生して、映像と音声が正常に記録されていることを確認してください。 ●クリーニングカセットを持ち歩く。 ●1ヶ月に 1 回は本機を使用する。 ●約 1000 時間の使用を目安に、お買い上げ店またはビクターサービス窓口へ定期点検に出す。	―

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	**映像が乱れる**	●シーンのつなぎめでは映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
再生中	**巻戻しや早送りできない**	●電源スイッチを「再生」にあわせる。	P.24
再生中	**テレビで再生されない**	●テレビの入力切換でビデオ用に設定する。	P.33
再生中	**テレビに縦長の画像が映る**	●メニューで「16：9」を「4：3TV」に設定する。	P.69
電源	**電源が入らない**	●AC アダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。 ●画面を開くか、ファインダーを引き出す。	P.16 P.20
撮影中	**撮影できない**	●テープの誤消去防止用つまみを「REC」にあわせる。 ●「テープ終り」と表示されていたら、テープを交換する。 ●カセットカバーを閉じる。 ●電源スイッチを「録画」にあわせる。 ●モード切替スイッチを正しく設定する。 ●画面で が黄色く点滅しているときは、緑色に点灯するまで待つ。	P.18 P.24 P.25 P.31
撮影中	**自動でピントがあわない**	●電源スイッチを「録画」にあわせる。 ●画面に M が表示されているときは、オートフォーカスにする。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスに設定して調節する。 ●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。	P.23 P.24 P.37

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
撮影中	ズームの映像が荒くなる	●メニューで「ズーム」を「15 倍」に設定する。 ●「1.3 ×」ボタンを何回か押して「TELE OFF」と表示する。（テレズーム使用時は画質が少し劣化します。）	P.63 P.27
	被写体が暗い	●逆光補正ボタンを押す。 ●ライトで照らす。 ●ナイトアイを使う。	P.40 P.38 P.39
	被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは解除する。 ●機能メニューの「プログラム AE」を「スポットライト」に設定する。 ●機能メニューの「明るさ補正」を「－」側に設定する。	P.40 P.61
	被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、機能メニューの「白バランス」を「ワンタッチ」に設定する。	P.61
	映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。	－
	日時表示がでない	●表示メニューの「日時表示」を「入」に設定する。	P.65
	デジタルズームできない	●設定メニューの「ズーム」を「15 倍」以外に設定する。 ●静止画を撮影するときは、光学ズーム（15 倍まで）のみを使います。	P.63
	プログラム AE・場面切替が使えない	●AUTO ボタンを押して、Ⓜ を表示する。	P.36

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	白バランスが設定できない	●機能メニューの「演出効果」を「セピア」や「白黒」に設定しているときは使えません。	P.61
液晶画面・ファインダー	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。	P.65 P.69
液晶画面・ファインダー	画面の裏側が熱くなる	●画面または電源を切ってしばらく置く。（長時間使うとバックライトが熱くなります。故障ではありません。）	–
液晶画面・ファインダー	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。（圧迫すると映像ムラが生じます。）	–
液晶画面・ファインダー	アイコン表示が点滅または消える	●場面切替・プログラム AE・手ぶれ補正などの同時に使えない機能を選んでいるときは、どちらかの機能を使うのをやめる。	P.61 P.63
液晶画面・ファインダー	画面が見えにくい	●ファインダーを使う。（直射日光下など周囲が明るいと見えにくくなります。）	P.20

分類	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
液晶画面・ファインダー	画面に表示されない	●画面を 180 度回転しているときは、確実に開く。(対面撮影時は、クイックレビュー中に表示が消えます。) ●画面を使うときは、ファインダーを引き出さない。または、システムメニューの「優先設定」を「液晶モニター」に設定する。	P.20 P.26 P.65
	ファインダーに表示されない	●画面を閉じる。または、システムメニューの「優先設定」を「ファインダー」に設定する。	P.65
カード	カードが入らない	●カードの向きを確認する。	P.19
	ファイルを削除できない	●メニューの「プロテクト」でプロテクトを解除する。	P.71
パソコン接続	マイコンピュータに「リムーバブルディスク」が表示されない(Windows)	●USB ケーブルを正しく接続する。 ●Windows XP の場合、「リムーバブルディスク」画面が表示されるまで待ち、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選んで「OK」ボタンをクリックする。 ●コントロールパネルの「システム」のプロパティで、USB(Universal Serial Bus) コントローラを使えるように設定する。	P.53
	デスクトップにカードのアイコンが表示されない(Macintosh)	●USB ケーブルを正しく接続する。 ●Finder の移動メニューで「コンピュータ」を選ぶ。それでもカードが表示されないときは、OS のバージョンを確認し、動作確認済みのバージョンにアップデートする。	P.53
	通信時エラー表示が出る	●USB ケーブルを正しく接続する。	P.53

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
その他	充電中、ランプが点滅しない	●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	P.90
	テープが入らない	●バッテリー残量を確認し、不足しているときは AC アダプターを接続する。 ●テープの向きを確認する。	P.17 P.18
	リモコンがきかない	●ビデオカメラのリモコン受光部に、リモコンを正しく向ける。 ●リモコンの電池を交換する。 ●メニューの「リモコン」を「入」に設定する。	P.10 P.15 P.65
	バッテリーステータスが表示されない	●AC アダプターを接続する。(バッテリー残量が完全になくなると、バッテリーステータスは表示されません。)	P.16 P.17
	DV ケーブル接続時、操作できない	●電源を切り、接続しなおしてから操作する。	–

■次の場合、故障ではありません

・ 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。

・ 画面やファインダーに黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
(画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点がでることがあります。)

こんな表示がでたら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源（バッテリーと AC アダプター）を取りはずし、再び取り付ける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または ビクターサービス窓口へご相談ください。

表示	ここを確かめてください

表示

露が付きました

しばらく
お待ち下さい

（交互に表示され、
動作が停止）

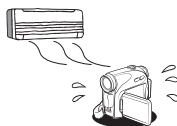
ここを確かめてください

- テープを出し入れせずに 1 時間以上待ち、メッセージが消えてから使う。
  ※消えない場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

■つゆつきとは

冷えたビールをコップに注いだときのように、まわりに水滴が付着する状態のこと。本機で発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまう。

■こんなときに起こりやすい

- 湿気の多いとき。
- 部屋を暖房した直後。
- 寒いところから暖かいところに急に移動したとき（エアコンなどの冷風が直接当たるところから暑い屋外への移動など）。

■つゆつきを防ぐには

- 温度や湿度の違うところに移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく置き、環境になじませてから使う。
- 例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入った場合は、ビニール袋などで密封し、しばらく置いて室温になじませる。

お知らせ

- メッセージの表示まえでもレンズや保護ガラスに水滴がついている場合、ヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。
- 寒冷地帯ではつゆが凍結し、霜になることがあります。またメッセージが消えるまで時間がかかることがあります。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	01、02、06	●バッテリーと AC アダプターを取りはずして付け直し、表示が消えてから使う。	P.16
全般	03、04	●テープを取り出して入れ直し、表示が消えてから使う。	P.18

■01 ～ 06 について

動作させて同じ表示がでなければ問題ありません。

2、3 回繰り返しても表示が消えないときは、テープは取り出さず、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	日時を設定して下さい	●日時を設定し直す。再び表示されたら、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。	P.21
全般	クリーニングカセットを試して下さい	●ミニ DV ヘッドクリーナー (別売) でクリーニングする。	P.72
全般	レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	P.15
テープ	テープへ記録できません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。	–
テープ	コピーガードがかかっています	●コピーガードのかかっている映像はダビングできません。	–
テープ	テープ終り	●テープを交換するか、巻戻す。	–

	表示	ここを確かめてください	ページ
テープ	HDV [tape icon]	●HDV 規格で記録した映像です。本機では再生できません。 ●テープを交換するか、早送り／巻戻しで再生できる部分を探す。 ●不要な映像の場合は、上書きして撮影する。	–
テープ	**インサート録画できません**	●テープのツマミを「REC」にあわせる。 ●メニューの「録画モード」を「SP」に設定して撮影しておく。 ●テープにムービーが記録されていないときは、ムービーを撮影しておく。	P.69
テープ	**音声アフレコできません**	●テープのツマミを「REC」にあわせる。 ●メニューの「録画モード」を「SP」に、「音声モード」を「12BIT」設定して撮影しておく。	P.69
カード	?	●ほかの機器で再生する。(本機で再生できない形式です。)	–
カード	**メモリーカードエラー**	●カードを入れ直す、またはメニューの「フォーマット」を実行する。	P.19 P.71
カード	**静止画がありません**	●カードに静止画を撮影する。	P.31
カード	**メモリー容量がありません**	●カードを交換するか、ファイルを削除する。	P.42
カード	**メモリーカードへ記録できません**	●カードを交換するか、ファイルを削除する。 ●SD メモリーカードのライトプロテクトをはずす。	P.42

	表示	ここを確かめてください	ページ
カード	ライトプロテクトがかかっています	●SD メモリーカードのライトプロテクトをはずす。 ●カードを交換する。	–
	プロテクトがかかっています	●メニューの「プロテクト」で解除する。	P.71

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

 危険 人が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。

 警告 人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。

 注意 人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

絵表示について

注意・警告が必要な事項。(図中に具体的な注意内容)

 禁止されている事項。(図中に具体的な禁止内容)

 実行して頂きたい事項。(図中に具体的な実行内容)

万が一こんなときは

バッテリーをはずす／電源プラグを抜く
- ●煙が出たり異臭がするとき
- ●落下などにより壊れたとき
- ●内部に水や異物が入ったとき

(そのまま使用すると火災や感電の原因)

販売店に修理を依頼してください

⚠危険

バッテリー、リモコン用電池

 絶対に分解、加工、加熱、火中投入などをしない

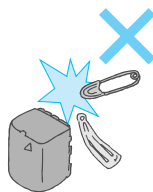
●液漏れ、発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

端子部に金属物(ネックレス、ヘアピンなど)を接触させない

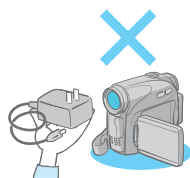
●ショートによる発熱で火災や、やけどの原因となります。

●持ち運びのときは、必ずバッテリーにキャップを付けてください。

高温(60 ℃以上)になる場所に置かない

●発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

AC アダプター

本機以外に使わない
●火災や故障、感電の原因となります。
●本機用のものか確認してからご使用ください。

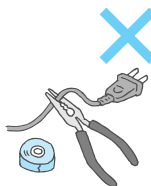
分解や改造をしない
●火災や感電の原因となります。
●お客様による点検、整備、修理は危険です。販売店にご依頼ください。

⚠警告

バッテリー、リモコン用電池

液もれしていたら使わない
●ショートによる発熱で、やけどの原因となります。
●本体取り付け部をよくふいて、バッテリーを交換してください。
●液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
●万が一、液が目などに入ったときは、きれいな水でよく洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

ぬれたバッテリーは使わない
●故障、感電、発熱、発火の原因となります。

AC アダプター

電源コードを傷つけない
●火災や感電の原因となります。
●次のようなことは電源コードが傷む原因になります。
コードを持って抜く、加工する、
無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重いものを載せる、加熱器具に近づける。

電源コードが傷んだときは電源プラグを抜く
●販売店に修理を依頼してください。
●芯線が露出したり、断線したまま使用すると、火災や感電の原因となります。

電源プラグにホコリや金属物を付着させない
●火災や感電の原因となります。
●付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。

指定の電源電圧で使用する

AC アダプター

雷が鳴り出したら、使用を中止する

- 感電の原因となります。

電源プラグは根元までしっかり差し込む

- 火災や感電の原因となります。
- 接触不良で発熱することがあります。

本体

内部に物を入れない

- 火災や感電の原因となります。

- 特にテープの出し入れ口に注意願います。
- 降雨・降雪中、海岸・水辺などでは水が入らないよう、ご注意ください。
- ふろ場では使用しないでください。

内部の部品にさわらない

- 感電や故障の原因となります。
- テープの出し入れ口から見える部品にさわらないでください。
- ファインダーのレンズ部分にさわらないでください。

機器を接続するときは、電源を切る

- 感電や故障の原因となります。

衝撃や振動を与えない

分解や改造をしない

- 火災や感電の原因となります。
- 内部の点検、整備、修理は販売店にご依頼ください。

運転中に使用しない

- 交通事故の原因となります。
- 自動車などを運転しながらの撮影・再生はしないでください。

レンズやファインダーを太陽などの強い光源に向けない

- 火災や故障の原因となります。
- 集光により、内部部品が破損、過熱することがあります。

⚠注意

バッテリー、リモコン用電池		**充電中に長時間ふれない** ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。
		電池を入れるときは、極性表示（＋と－）をあわせる ●電池の破裂、液漏れにより火災、けが、周囲の汚損の原因となります。
AC アダプター		**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となります。
		充電中に長時間ふれない ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。
		コードはつまずかないように配置する ●製品の落下や転倒によるけがの原因となります。
本体		**次のような場所には置かない、使わない** ●浜辺など砂ボコリの多いところ。 ●湿気やホコリの多いところ。 ●調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気の当たるところ。 ●熱器具の近くや直射日光の強いところなど高温になるところ。 ●車のダッシュボードの上など高温（60℃以上）になるところ。 ●火災や感電、故障の原因となります。
共通		**移動するときは、電源プラグや接続コードをはずす** ●コードの損傷による火災ややけどの原因となります。
		長期間使わないときや、お手入れするときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く ●感電の原因となります。 ●電源が「切」でも機器には電気が流れています。
		5 年に一度は販売店に内部点検を依頼する ●内部のホコリに電気が流れ、火災や感電の原因となります。 ●湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。
		飛行機内での使用は、航空会社の指示に従う ●本機の電磁波などが、計器に影響を与えるおそれがあります。
アクセサリー		**AC アダプターやバッテリーは当社指定のものを使う** ●火災や感電の原因となります。 ●本機用のものか、確かめてお使いください。

保証とアフターサービス

保証書 別添付

保証書を販売店から受け取る際は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。その後、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合わせください。最寄りのビクターサービスは、別紙の「ビクターサービス窓口案内」にてご確認ください。

愛情点検	●長年お使いのカメラの点検をぜひ！		熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。
	このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある	ご使用を中止 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

修理を依頼される場合 持込修理

「故障かなと思ったら…」(P.72) に従って調べてください。
異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機・DV カセットテープ・SD メモリーカード・マルチメディアカードなどの万が一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオカメラ
型名	GR-D650
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	(　)　－

■保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社 (以下、当社) にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合せへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕様

一般

電源	AC アダプター使用時　DC 11V バッテリー使用時　DC 7.2V
消費電力	ファインダー使用時　2.8W　(ライト使用時　3.0W) 液晶画面使用時　3.1W　(ライト使用時　3.3W)
外形寸法	59mm × 97mm × 112mm (幅×高さ×奥行き)
質量	本体　約 420g(グリップベルトを含む) 撮影時　約 500g(バッテリー BN-VF707、60 分テープ、メモリーカード、レンズキャップ、グリップベルトを含む)
動作環境	許容動作温度　0 ℃～ 40 ℃ 許容相対湿度　35%～ 80% 許容保存温度　-20 ℃～ 50 ℃

カメラ部

映像素子	1/5 型 133 万画素 CCD 撮像エリア：69 万画素 (ムービー)、123 万画素 (静止画)
レンズ	F1.2 ～ F2.8、f = 3.0mm ～ 45.0mm (35mm カメラ換算　ムービー :48.1mm～721.5mm 静止画　:36.1mm～541.5mm)
フィルター径	30.5mm (ネジピッチ 0.5mm)
最低照度	9 ルクス (シャッタースピード：1/60) 1 ルクス (ナイトアイモード、シャッタースピード：1/2 ～ 1/30)
ライト	推奨撮影距離：1.5m 以下、LED タイプ

液晶部／ファインダー部

液晶画面	2.5 型、11.2 万画素、アモルファスカラー液晶
ファインダー	0.33 型、11.3 万画素、ポリシリコンカラー液晶

■撮影・再生時のズーム仕様

ムービー撮影時	光学ズーム 15 倍まで、デジタルズーム 200 倍まで
静止画撮影時	光学ズーム 15 倍まで
再生時	再生ズーム 13 倍まで

デジタルビデオカメラ部

録画／再生方式	DV 方式 (SD 仕様) 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCM デジタル記録、32kHz 4 チャンネル (12BIT)、48kHz 2 チャンネル (16BIT)、44.1kHz(再生のみ)
信号規格	NTSC 日米標準信号方式
使用カセット	ミニ DV カセット
録画／再生時間	SP モード：80 分、LP モード：120 分 (80 分テープ使用時)
早送り／巻戻し	約 3 分 (60 分テープ使用時)

デジタルスチルカメラ部

記録方式	JPEG 準拠
拡張子	JPG
画像サイズ	(次の表を参照のこと)
画質	ファイン／スタンダード
記録メディア	マルチメディアカード (市販)、SD メモリーカード (市販)

■静止画の撮影可能枚数の目安

		マルチメディアカード	SD メモリーカード	
画像サイズ	画質モード	32MB	32MB	64MB
640 × 480	ファイン	215 枚	205 枚	425 枚
	スタンダード	645 枚	625 枚	1285 枚
1024 × 768	ファイン	100 枚	95 枚	200 枚
	スタンダード	320 枚	310 枚	640 枚
1280 × 960	ファイン	60 枚	60 枚	125 枚
	スタンダード	216 枚	205 枚	425 枚

お知らせ ●撮影枚数は目安です。SD メモリーカードについては、松下製、東芝製、SanDisk 製、PQI 製：32MB/64MB(2006 年 3 月現在、当社動作確認済み) の使用を推奨いたします。

端子部

DV 端子	4 ピン (i.LINK ／ IEEE1394 準拠)
AV 端子	映像端子 アナログ入力 (0.8V(p-p) ～ 1.2V(p-p)、75Ω) アナログ出力 (1.0V(p-p)、75Ω) 音声端子 ステレオ・アナログ入力 (300mV(rms)、50kΩ) ステレオ・アナログ出力 (300mV(rms)、1kΩ)
S 端子	アナログ入力 (Y:0.8V(p-p) ～ 1.2V(p-p)、75Ω C:0.2V(p-p) ～ 0.4V(p-p)、75Ω) アナログ出力 (Y:1.0V(p-p)、75Ω C:0.29V(p-p)、75Ω)
USB 端子	ミニ USB-B タイプ(USB 2.0 ／ 1.1 準拠、転送速度:USB 1.1 相当)

時計用電池

種類	一次電池 (内蔵)

AC アダプター AP-V14

電源	AC 100V ─ 240V、50Hz ／ 60Hz
入力容量	23VA(100V)、31VA(240V)
出力	DC11V、1A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ (充電時は 10 ℃～ 35 ℃)
外形寸法	50mm × 27mm × 71mm (幅×高さ×奥行き) (コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100g

リモコン RM-V740

電池	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約 1 年 (使用頻度により変わります。)
動作距離	約 5m(正面軸上)
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃
外形寸法	42mm × 13mm × 91mm(幅×高さ×奥行き)
質量	約 30g(ボタン電池を含む)

バッテリー BN-VF707

電圧	DC 7.2V
容量	700mAh
外形寸法	38mm × 23mm × 41mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 55g

■充電時間の目安

バッテリー	時間
BN-VF707(付属)	1 時間 30 分
BN-VF714(別売)	2 時間 40 分
BN-VF733(別売)	5 時間 40 分

※室温 10 ℃~ 35 ℃の範囲を想定しています。表の数字は目安です。

■実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時		液晶画面使用時	
	ライトなし	ライト使用時	ライトなし	ライト使用時
BN-VF707(付属)	50 分	50 分	45 分	45 分
BN-VF714(別売)	1 時間 45 分	1 時間 35 分	1 時間 35 分	1 時間 30 分
BN-VF733(別売)	4 時間	3 時間 50 分	3 時間 40 分	3 時間 25 分
VU-V840KIT(別売)	4 時間 45 分	4 時間 30 分	4 時間 20 分	4 時間 5 分
VU-V856KIT(別売)	6 時間 50 分	6 時間 20 分	6 時間 10 分	5 時間 45 分

■連続撮影時間の目安(最大撮影時間)

バッテリー	ファインダー使用時		液晶画面使用時	
	ライトなし	ライト使用時	ライトなし	ライト使用時
BN-VF707(付属)	1 時間 40 分	1 時間 35 分	1 時間 30 分	1 時間 25 分
BN-VF714(別売)	3 時間 25 分	3 時間 10 分	3 時間 5 分	2 時間 55 分
BN-VF733(別売)	8 時間	7 時間 35 分	7 時間 20 分	6 時間 50 分
VU-V840KIT(別売)	9 時間 30 分	8 時間 55 分	8 時間 40 分	8 時間 5 分
VU-V856KIT(別売)	13 時間 40 分	12 時間 40 分	12 時間 20 分	11 時間 30 分

※VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード (VC-VBN800) でバッテリーポーチとビデオカメラを接続して使います。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。
※撮影条件により、撮影可能時間は変化します。表の数字は目安です。

お知らせ
- 撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。撮影予定時間の約3倍分のバッテリーを用意することをお勧めします。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(P.16)。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

バッテリーの処分について

- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
  ・ お問い合わせ：有限責任中間法人　JBRC
  　　　　　　　　http://www.jbrc.net/hp/

※見られない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターへ

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

他社製品の登録商標と商標について

- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。i.はi.LINKに準拠した商品につけられるロゴマークです。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

For English Users

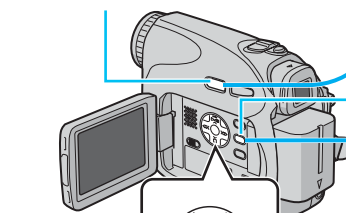
To change the Menu indications etc. to English.

Lock button

POWER switch

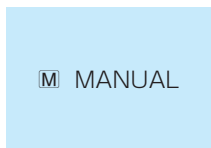
AUTO button

MENU button

Set button

1 Set the POWER switch to "録画" while pressing down the LOCK button located on the switch.

• 録画
• 切
• 再生

2 AUTO — Press AUTO button once or twice until "M MANUAL" is displayed.

M MANUAL

After a few seconds, M icon is displayed on the left of the screen.

3 MENU — Press MENU button.

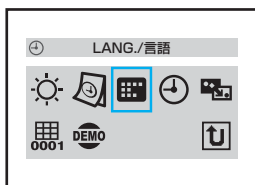
4 Select "🕘" and press Set button.

表示

5 Select "▦" and press Set button.

LANG./言語

DEMO

0001

6 Select "ENGLISH" and press Set button.

7 Press MENU button.
The Menu screen closes.

さくいん

ユーザー登録およびアンケートのお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、ユーザー登録およびアンケートにご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/dvc/

商品についてのご相談や修理のご依頼は

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.87 をご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120-2828-17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話：(045) 450-8950 FAX：(045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12
技術的なご相談	
DVご相談窓口 **電話：(045)450-2770**	

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M6D2S7 0306MKH-HT-VM